

令和2年陸別町議会9月定例会会議録（第2号）

招集の場所	陸別町役場議場					
開閉会日時 及び宣告	開会	令和2年9月9日	午前10時00分	議長	本田 学	
	閉会	令和2年9月9日	午後2時54分	議長	本田 学	
応（不応）招議員 及び出席並びに 欠席議員  凡例 ○ 出席を示す ▲ 欠席を示す × 不応招を示す  ▲○ 公務欠席を示す	議席 番号	氏名	出席等 の別	議席 番号	氏名	出席等 の別
	1	中村佳代子	○			
	2	三輪隼平	○			
	3	久保広幸	○			
	4	谷 郁 司	○			
	6	多胡裕司	○			
	7	渡辺三義	○			
	8	本田 学	○			
会議録署名議員	三輪隼平		久保広幸			
職務のため議場に 出席した者の職氏名	事務局長			主任主査		
	庄野勝政			竹島美登里		
法第121条の規定 により出席した者の 職氏名	町 長	野尻秀隆	教育長	有田勝彦		
	監査委員	飯尾清	農業委員長（議員兼職）	多胡裕司		
町長の委任を受けて 出席した者の職氏名	副 町 長	早坂政志	会計管理者	（棟方勝則）		
	総務課長	副島俊樹	町民会長	棟方勝則		
	産業進行	今村保広	保健福祉センター次長	丹野景広		
	建設課長	清水光明	国保関連診療所事務長	（丹野景広）		
	総務課参事	高橋直人	総務課主幹	菅原靖志		
教育長の委任を受けて 出席した者の職氏名	教委次長	空井猛壽				
農業委員会会長の委任を 受けて出席した者の職氏名	農委事務局長	瀧口和雄				
選挙管理委員会委員長の 委任を受けて出席した 者の職氏名						
議 事 日 程	別紙のとおり					
会 議 に 付 し た 事 件	別紙のとおり					

会 議 の 経 過	別紙のとおり
-----------	--------



◎議事日程

日程	議案番号	件名
1		会議録署名議員の指名
2	議案第61号	令和元年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について
3	議案第62号	令和元年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出 決算認定について
4	議案第63号	令和元年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計 歳入歳出決算認定について
5	議案第64号	令和元年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定 について
6	議案第65号	令和元年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認 定について
7	議案第66号	令和元年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算 認定について
8	議案第67号	令和元年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認 定について

◎会議に付した事件

議事日程のとおり

---

◎開議宣告

---

○議長（本田 学君） これより、本日の会議を開きます。

---

◎日程第 1 会議録署名議員の指名

---

○議長（本田 学君） 日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。  
会議録署名議員は、2 番三輪議員、3 番久保議員を指名します。

---

- ◎日程第 2 議案第 6 1 号令和元年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について
  - ◎日程第 3 議案第 6 2 号令和元年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
  - ◎日程第 4 議案第 6 3 号令和元年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について
  - ◎日程第 5 議案第 6 4 号令和元年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
  - ◎日程第 6 議案第 6 5 号令和元年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
  - ◎日程第 7 議案第 6 6 号令和元年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
  - ◎日程第 8 議案第 6 7 号令和元年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 

○議長（本田 学君） 日程第 2 議案第 6 1 号令和元年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定についてから、日程第 8 議案第 6 7 号令和元年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてまで、7 件を一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

野尻町長。

○町長（野尻秀隆君）〔登壇〕 議案第 6 1 号令和元年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第 6 2 号令和元年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第 6 3 号令和元年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第 6 4 号令和元年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案

第65号令和元年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第66号令和元年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第67号令和元年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、以上、議案第61号から議案第67号まで、7件を一括して、別紙監査委員の意見を付しまして、議会の承認を求めるものであります。

内容につきましては、副町長から御説明申し上げますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（本田 学君） 早坂副町長。

○副町長（早坂政志君） それでは、私のほうから、議案第61号から議案第67号までの令和元年度の各会計の決算について、一括して説明をさせていただきます。

まず初めに、令和元年度の全会計の決算状況について説明をしたいと思いますので、議案説明書、資料ナンバー20を御覧ください。

資料ナンバー20です。この表は、令和元年度の決算書の各会計の実質収支に関する調書と符号するものでありまして、円単位で整理した表であります。

7会計の合計につきましては、予算額67億3,992万3,960円に対し、歳入が63億6,699万3,007円、歳出は61億9,013万6,647円、歳入歳出差引額が1億7,685万6,360円であります。

翌年度に繰り越すべき財源、繰越明許費繰越額は、一般会計のみであります。1,145万2,000円、歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支額の合計は1億6,540万4,360円であります。この中から、一般会計において財政調整基金に6,000万円を積み立てしまして、令和2年度に繰り越しする額の合計は1億540万4,360円となっております。

なお、歳出の決算額の執行率は91.8%、予算額から繰越明許費の3億4,923万1,000円を除きますと96.9%の執行率となります。

それでは、これより、議案第61号令和元年度陸別町一般会計歳入歳出決算についての説明に入らせていただきます。

まず、議案説明書の資料ナンバー21を御覧ください。

この資料につきましては、令和元年度繰越明許事業一覧でありまして、平成30年度から令和元年度への繰り越し分であります。繰り越し事業につきましては記載のとおりであります。合計につきましては1億9,469万7,960円、実績額は1億7,858万5,390円で、1,611万2,570円の不用額となっております。

次に、議案説明書、資料ナンバー22を御覧ください。

こちらの資料は、令和2年度繰越明許事業一覧で、令和元年度から令和2年度への繰り越し分であります。こちらも繰り越し事業は記載のとおりでありまして、合計につきましては3億4,923万1,000円であります。

それでは、これより決算書により順次説明をさせていただきたいと思っております。

初めに、説明資料により説明いたしますので、決算書の139ページを御覧ください。

それでは、139ページの資料説明ですが、第1表、令和元年度歳入歳出決算の総括であります。予算額53億210万6,960円、歳入の決算額49億3,035万2,564円、歳出の決算額48億1,240万1,159円、差し引き残額1億1,795万1,405円、歳出の執行率は90.8%であります。

なお、平成30年度から繰越額及び執行額と、令和2年度への繰越額を予算額及び歳出決算額から除いた令和元年度の単年度分につきましては、予算額47億5,817万8,040円に対し、歳出額46億3,381万5,769円となりまして、歳出の執行率は97.4%となります。

次のページを御覧ください。

第2表、歳入実績最近年度比較表であります。

1款町税から合計までの科目ごとの平成30年度と令和元年度の金額、それから、比較などにつきましては表のとおりであります。令和元年度の歳入の合計では、調定額49億3,251万9,046円、収入済額49億3,035万2,564円で、収入済額を前年度と比較しますと、2億172万5,387円の増となっております。このうち、1款の町税につきましては、収入済額が3億4,922万4,274円、歳入に占める割合は7.1%で、前年度比0.3ポイントの減、不納欠損額は19万6,674円、収入未済額は196万9,808円であります。

次に、10款の地方交付税についてであります。収入済額は21億8,041万8,000円で、前年度に比べて4,446万9,000円の増、歳入に占める割合は44.2%、前年度比1ポイントの減であります。

歳入には、町税や使用料、手数料などの自主財源と国や道の支出金などの依存財源がありますが、当町の自主財源は14億2,876万7,624円、前年度より1億7,020万6,952円の減となっております。歳入に占める割合は29.0%で、前年度比4.8ポイントの減となっております。一方、依存財源につきましては35億158万4,940円で、前年度より3億7,193万2,339円の増となっており、歳入に占める割合は71%、前年度比4.8ポイントの増。地方交付税の依存財源に占める割合は62.3%となっております。

次のページをお開きください。

第3表、歳出実績最近年度比較表であります。

1款議会費から合計までの科目ごとの平成30年度と令和元年度の金額、それから比較などは表のとおりであります。令和元年度の歳出の合計では、支出済額48億1,240万1,159円で、前年度と比較しますと2億405万5,367円の増、翌年度繰越額は3億4,923万1,000円、不用額は1億47万4,801円、執行率は90.8%でありまして、前年度より3ポイントの減となっております。

次のページに移ります。

第4表、町税徴収実績表であります。左側が現年度分、右側が滞納繰越分となっております。

左側の現年度分の町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税の合計は、調定額3億4,826万4,315円に対し、収入済額が3億4,748万6,007円で、前年度と比較しますと82万1,943円の減、不納欠損額は1万4,700円、収入未済額が76万3,608円で、収納率は99.8%であります。

右側の滞納繰越分では、調定額312万6,441円、これに対しまして収入済額が173万8,267円で、前年度と比較しますと96万687円の増、不納欠損額は18万1,974円、収入未済額が120万6,200円で、収納率は55.6%であります。

次のページをお開きください。

第5表、歳出の性質分析表であります。この表につきましては、科目の款ごとに人件費から繰出金までを分類した決算統計上の数値を使用しております。後ほど御覧をいただきたいと思っております。

なお、人件費、扶助費、公債費が自治体の義務的経費と言われているものでありますが、この合計額は14億1,559万4,000円であります。

次のページの144ページは、第6表、最近5か年間の決算額調べであります。こちらも後ほど御覧いただきたいと思っております。

145ページをお開きください。

145ページは、第7表、地方消費税交付金の社会保障財源化分が充てられる社会保障4経費、その他社会保障施策に要する経費であります。平成26年度の決算から消費税の引き上げ分を社会保障の財源とするという法律改正に伴いまして義務化されたものであります。社会福祉、社会保険、保健衛生の事業の令和元年度の決算額は7億321万3,000円で、その財源として、国・道支出金が2億656万7,000円、地方債が1,380万円、その他が9,109万7,000円で、一般財源の一部として地方消費税交付金1,951万9,000円が充当されております。

以上で、説明資料による説明を終わります。次に、8ページからの陸別町一般会計歳入歳出決算の事項別明細書の説明を行います。

事項別明細書は9ページをお開きください。

それでは、9ページの歳入からの説明をさせていただきます。事項別明細書では、細かい部分は省略をしまして、大まかな説明だけとさせていただきますので、あらかじめ御了承いただきたいと思っております。

1款町税であります。町税関係の資料としまして、議案説明書、資料ナンバー23-1と2、町税の調定・収入状況調書、資料ナンバーの24に十勝市町村税滞納整理機構への引き継ぎ額、収納額、それから、資料ナンバー25に、税に関する不納欠損の内容がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

それでは、決算書の9ページの上段から御覧いただきたいと思います。

町税の収入済額は3億4,922万4,274円、収納率は99.4%であります。これを今年の3月31日現在の人口2,334人で割りますと、1人当たり14万9,625円で、平成30年度と比較しますと1,582円の増となっております。

この収入済額の中には、十勝市町村税滞納整理機構からの50件、58万2,373円が引き継がれて納入されております。不納欠損額は11件、19万6,674円、収入未済額は87件、196万9,808円ありますが、この収入未済額のうち、27件、55万522円が8月末日までに納入されております。

1項の町民税1目個人1節現年課税分の収入済額は1億2,384万3,718円、収入未済額は13件、55万5,108円、このうち5件、8万8,124円が8月末日までに納入されております。2節滞納繰越分の収入済額は101万4,189円で、この中には、十勝市町村税滞納整理機構からの24件、41万1,495円が含まれております。不納欠損額は3件、10万7,274円、収入未済額は23件、75万1,578円、このうち13件、24万4,074円が8月末日までに納入されております。

2目法人1節現年課税分の収入済額は1,907万6,600円で、収入未済額はございません。

2項固定資産税1目固定資産税1節現年課税分の収入済額は1億7,086万7,700円、不納欠損額は1件、1万4,700円、収入未済額は13件、18万4,700円、このうち2件、3万3,000円が8月末日までに納入されております。2節の滞納繰越分の収入済額は59万8,778円で、この中には、十勝市町村税滞納整理機構からの23件、14万9,278円が含まれております。不納欠損額は6件、6万8,700円で、収入未済額は26件、38万4,022円、このうち3件、14万3,822円が8月末日までに納入されております。

2目国有資産等所在市町村交付金は705万7,700円が収入済みであります。

3項軽自動車税1目軽自動車税1節現年課税分の収入済額は664万5,800円、収入未済額は3件で2万3,800円、このうち1件、4,900円が8月末日までに納入されております。2節滞納繰越分の収入済額は12万5,300円で、この中には、十勝市町村税滞納整理機構からの3件、2万1,600円が含まれております。不納欠損額は1件、6,000円、収入未済額は9件、7万600円、このうち3件、3万6,600円が8月末日までに納入されております。

次に、2目環境性能割であります。この節は令和元年度に新設された科目であります。

11ページをお開きください。

1節現年課税分の収入済額は6万1,100円であります。

4項町たばこ税1目町たばこ税1節現年課税分の収入済額は1,993万3,389円あります。前年度より25万9,056円の増となっております。

2 款地方譲与税 1 項自動車重量譲与税は 5,522 万 3,000 円。

2 項地方揮発油譲与税は 1,917 万 5,000 円。

3 項森林環境譲与税は新設の科目で、1,260 万 1,000 円。

4 項地方道路譲与税は、令和元年度に国に収納された額から 7 円の配分があったところ  
ろであります。

3 款利子割交付金は 21 万 6,000 円。

次のページをお開きください。

4 款配当割交付金は 70 万 7,000 円。

5 款株式等譲渡所得割交付金は 46 万 2,000 円。

6 款地方消費税交付金は 4,826 万円で、社会保障財源化分が 1,951 万 9,000  
円、その他の地方消費税交付金が 2,874 万 1,000 円の内訳となっております。

7 款自動車取得税交付金は 837 万 624 円。

次のページをお開きください。15 ページからです。

8 款環境性能割交付金は新設の科目で、241 万 6,000 円。

9 款地方特例交付金 1 項地方特例交付金は 200 万 3,000 円。

2 項子ども・子育て支援臨時交付金は 54 万円であります。

続きまして、10 款地方交付税 21 億 8,041 万 8,000 円ではありますが、前年度  
と比較しますと 4,446 万 9,000 円の増額となっております。内訳としましては、  
普通地方交付税が 19 億 5,461 万 5,000 円で、前年度より 6,677 万円の増額。  
特別地方交付税は 2 億 2,580 万 3,000 円で、前年度より 2,230 万 1,000 円  
の減額、このようになっております。この地方交付税を 3 月末現在の人口 2,334 人  
で割りますと、1 人当たり 93 万 4,198 円となりまして、前年度と比較しますと、1 人  
当たり 2 万 8,367 円の増額となっております。

11 款交通安全対策特別交付金は、基準額に満たないということで未交付となってお  
ります。

次のページをお開きください。

12 款分担金及び負担金 1 項分担金 1 目農林水産業費分担金 1 節農業費分担金は、農  
業競争力基盤整備事業に係る農業者の分担分 2,313 万 7,346 円であります。令和  
元年度予算計上分が、個人 7 件、法人 4 件の計 11 件分、1,266 万 8,343 円、平  
成 30 年度からの繰越明許費分が個人 1 件、法人 2 件の計 3 件分で 1,046 万 9,00  
3 円の収入となっております。

2 項負担金 1 目民生費負担金 1 節老人福祉費負担金は、町外の養護老人ホーム等の入  
所者 3 名分、91 万 4,433 円でありまして、現在は 1 名のみの入所措置となってお  
ります。

次に、13 款使用料及び手数料 1 項使用料 1 目総務使用料 4,249 万 6,910 円  
あります。1 節行政財産使用料 713 万 2,210 円は、庁舎、天文台、ふるさと交流セ

ンター、町有地など、12施設の行政財産使用料、それから、土地、建物使用料であります。2節福祉館等使用料4万4,600円は、若葉いきがい交流館での葬儀による使用1件分。3節タウンホール使用料は2回分で2万5,000円。4節ふるさと交流センター使用料は1,570万9,600円で、令和元年度は4,307名が宿泊しており、前年度に比べて184名の増となっております。

なお、議案説明書、資料ナンバー32-1と2に、ふるさと交流センター管理費内訳と、オーロラハウス利用状況がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思ます。

5節の銀河の森宇宙地球科学館等使用料は1,958万5,500円で、天文台とコテージ村を合わせた使用料であります。令和元年度は、天文台の入館者数が7,407人で、前年度に比べて348人の減、コテージ村の利用棟数は868棟で、前年度に比べ76棟の増、稼働率は34%となっております。

議案説明書、資料ナンバー33に、銀河の森天文台実績表と、資料ナンバー34に、コテージ村利用実績がつけてありますので、こちらも後ほど御覧をいただきたいと思ます。

それでは、決算書の17ページにお戻りください。

次に、2目民生使用料466万1,640円でありますが、次のページを御覧ください。1節老人福祉使用料203万4,400円は、福寿荘の使用料。2節児童福祉使用料214万7,240円は、陸別保育所の保育料であります。年度末における園児数は、2歳児が6名、3歳児が15名、4歳児16名、5歳児7名の合計44名であります。3節福祉住宅使用料48万円は、カラマツハウスの使用料。

3目衛生使用料608万7,544円は、1節保健衛生使用料192万8,210円が公衆浴場の使用料で、令和元年度は8,161人の利用がありまして、前年度に比べて388人の増となっております。2節水道使用料415万9,334円は、小利別地区の専用水道使用料で、給水人口は59人であります。

4目農林水産使用料1節農林水産使用料13万9,500円は、農畜産物加工研修センターの使用料で、254回の利用がございました。2節営農用水使用料500万6,268円は、上陸別地区の給水人口が70人、259万3,161円、トラリ地区の給水人口が50人で241万3,107円であります。

5目商工使用料1節公園使用料5万2,982円は、イベント広場の使用料。

6目土木使用料は6,494万3,186円で、1節道路橋りょう使用料で242万3,841円は、道路占用料17件であります。2節の河川使用料は24件で、6万9,045円。3節住宅使用料は6,245万300円。これにつきましては、町営住宅、改良住宅、特定公共賃貸住宅の使用料。4節集会所使用料はございません。

7目の教育使用料は203万7,099円で、1節社会教育使用料3万7,399円は、公民館及び公民館の陶芸室の使用料であります。

次のページをお開きください。

2節資料館使用料13万4,700円は、関資料館の入館料で、449名分。3節学童保育所使用料は186万5,000円で、3月の在籍者数は34名で、前年度より2名の増となっております。

2項手数料1目総務手数料1節総務手数料159万2,150円は、住民基本台帳証明手数料などの各種証明等の手数料であります。

2目衛生手数料791万7,000円は、1節衛生手数料の791万7,000円で、ごみ処理、畜犬登録や狂犬病予防注射済票の交付などの手数料であります。2節水道手数料は、新設工事審査手数料などを見込んでおりましたが、実績がございませんでした。

3目農林水産手数料は、1節営農用水手数料の8,000円で、営農用水の新設工事審査手数料等1件分であります。

続きまして、14款国庫支出金1項国庫負担金1目民生費負担金1億1,650万8,916円であります。1節社会福祉費負担金8,663万990円は、障害者自立支援給付費等に係る負担金と、介護保険の低所得者保険料軽減負担金、国民健康保険事業保険基盤安定負担金が含まれております。2節児童福祉費負担金2,987万7,926円は、児童手当に係る負担金、障害児介護給付費負担金、子どものための教育・保育給付費負担金であります。

2目衛生費負担金は、1節保健衛生費負担金の7万4,520円で、母子保健に係る負担金であります。

次に、2項国庫補助金であります。次のページをお開きください。

1目総務費補助金は、1節総務管理費補助金415万7,855円で、社会保障・税番号制度導入整備補助金と地方創生推進交付金であります。

2目民生費補助金622万8,400円は、1節社会福祉費補助金239万8,400円が、地域生活支援事業補助金と、消費税増税に伴い実施されましたプレミアム付商品券事業の補助金であります。2節児童福祉費補助金383万円は、子ども・子育て支援交付金。

3目土木費補助金9,372万3,000円は、1節道路橋りょう費補助金の3,818万6,000円が橋りょう長寿命化修繕事業補助金。2節住宅費補助金の5,553万7,000円が、公営住宅建設に係る社会資本整備総合交付金。

4目教育費補助金1,691万8,000円は、1節小学校費補助金と2節の中学校費補助金、それぞれ2万4,000円で、ともに特殊教育就学奨励費補助金であります。3節の教育総務費補助金1,687万円は、教員住宅建設に係る学校施設環境改善交付金であります。

3項委託金1目総務費委託金367万371円は、1節総務管理費委託金の20万6,000円で、中長期在留者居住地届出等事務委託金が含まれております。2節選挙費委

託金 346万4,371円は、参議院議員選挙の委託金。

2目民生費委託金 149万8,672円は、1節児童福祉費委託金が3,858円で、児童扶養手当、特別児童扶養手当の事務委託金であります。

次のページをお開きください。

2節の国民年金費委託金 149万4,814円は、拠出年金事務委託金、協力連携事務委託金であります。

次に、15款道支出金1項道負担金1目民生費負担金 6,887万9,333円であります。1節社会福祉費負担金 5,837万4,501円は、先ほど国庫負担でも説明しました障害者自立支援給付費等に係る負担金であります。おおむね4分の1の負担率であります。2節児童福祉費負担金 1,050万4,832円も、先ほど国庫負担金で説明しました内容とほぼ同様でありまして、児童手当に係る負担金などとなっております。

2目衛生費負担金は、1節保健衛生費負担金の母子保健衛生費負担金で、26万2,477円あります。

2項道補助金1目総務費補助金は、1節総務管理費補助金の10万円で、防災備蓄品整備事業に係る地域づくり総合交付金であります。

2目民生費補助金 1,402万1,966円は、1節の社会福祉費補助金 768万5,966円で、これは乳幼児医療費などの各種医療費補助金のほか、地域生活支援事業補助金、デイサービス用の車両購入用事業の補助金などが含まれております。2節児童福祉費補助金 633万6,000円は、子ども・子育て支援交付金、子ども・子育て支援事業保育料軽減支援事業の補助金であります。

3目衛生費補助金は、1節保健衛生費補助金 58万7,345円で、健康増進事業、妊産婦安心出産支援事業、風疹抗体検査事業の補助金であります。

4目農林水産業費補助金 2億1,841万5,812円は、1節農業費補助金 6,147万8,340円が、農業委員会活動促進事業、中山間地域直接支払事業、農業競争力強化基盤整備事業、農業次世代人材投資事業などの補助金であります。なお、農業競争力強化基盤整備事業補助金は、令和元年度予算計上分が545万円、繰越明許費分が236万円の合計781万円の収入となっております。

次のページをお開きください。

2節林業費補助金 1億5,693万7,472円は、繰越事業の林業・木材産業構造改革事業補助金 1,500万円のほか、未来につなぐ森づくり推進事業、小規模治山事業、経営林道陸別薫別支線改良事業などの補助金であります。

5目商工費補助金1節消費者対策費補助金 55万6,000円は、地方消費者行政活性化交付金であります。

3項委託金1目総務費委託金から、次のページの5目土木費委託金までは、権限委譲などによる委託金であります。

1目総務費委託金 575万5,947円は、1節総務管理費委託金が、北海道権限委譲

事務交付金ほか2件で15万2,900円、2節徴税費委託金は、道民税徴収委託金で35万7,107円、3節戸籍住民基本台帳費委託金は、構成調査事務委託金で1万700円、4節統計調査費委託金52万7,477円、5節選挙費委託金は、知事、道議会議員選挙委託金で14万8,763円であります。

2目の衛生費委託金2万9,447円は、1節保健衛生費委託金が、公害防止事務委託金ほか1件で1万6,000円、2節の清掃費委託金は、建設リサイクル法事務取扱委託金で1万3,447円。

3目農林水産業費委託金20万3,751円は、1節農業費委託金が、家畜伝染病予防事務委託金ほか6件で19万2,755円、2節の林業費委託金は、有害鳥獣等捕獲許可委託金10万6,200円であります。

次のページをお開きください。

4目商工費委託金は、1節商工費委託金の商工会法関係許認可事務等の委託金で1万7,520円。

5目土木費委託金は、1節土木管理費委託金で、陸別川樋管管理委託金ほか2件で10万2,977円。

続きまして、16款財産収入1項財産運用収入1目財産貸付収入4,142万3,789円であります。1節土地建物貸付収入の2,968万7,189円は、普通財産の土地建物の貸付収入であります。主なものとしまして、産業振興住宅ルナコート、貸付住宅、教職員住宅、移住産業研修センターなどの貸付収入となっております。2節通信設備貸付収入1,079万1,600円は、光ファイバー網の貸付収入。3節機械器具等貸付収入94万5,000円は、コントラクターへの農業機械の平成25年度貸付分であります。

2目利子及び配当金は、1節利子及び配当金26万9,278円で、各種基金利子が18万7,978円、優先出資株式配当金などが8万1,300円であります。

2項財産売却収入1目不動産売却収入1節土地売却収入につきましては、高速道路の建設に係る町有地の売り払いで1,151万675円あります。2節建物売却収入は科目存置であります。

2目の物品売却収入は、1節生産物売却収入1,439万円で、これは町有林の立木売り払いに627万円、素材売り払いに812万円の収入であります。

次のページをお開きください。

3目の出資金精算等収入1節株式譲渡収入1,126万6,687円は、帯広空港ターミナルビル株式会社の株式37株の北海道エアポート株式会社への譲渡による収入であります。

次に、17款寄附金1項寄附金1目一般寄附金は科目存置。

2目の指定寄附金75万2,500円は、指定寄附分が11件、288万円、ふるさと納税分が315件、464万5,500円あります。1節の総務費寄附金59万5

5,500円は、ふるさと整備資金に指定寄附10件、283万円、ふるさと納税で137件、203万円、ふるさと銀河線跡地活用等振興基金に、ふるさと納税50件、75万5,000円、町有林整備基金に、ふるさと納税28件、34万500円。2節の教育費寄附金は、給食センター管理運営基金にふるさと納税30件、42万円。3節民生費給付金は、地域福祉基金にふるさと納税27件、48万円。4節農林水産業費寄附金67万円は、いきいき産業支援基金に指定寄付で1件、5万円。ふるさと納税43件、62万円の寄附となっております。

次に、18款繰入金1項基金繰入金であります。1目財政調整基金繰入金は1億3,000万円を基金から取り崩しまして、財源不足に充当しております。

2目の減債基金繰入金は、2億円を基金から取り崩しまして、地方債の償還に充当しております。

3目ふるさと整備基金繰入金は2,470万円で、次のページをお開きください。

4目いきいき産業支援基金繰入金は9,371万円、ここには繰越明許費が含まれております。

5目ふるさと銀河線跡地活用等振興基金繰入金は1,170万円。

6目町有林整備基金繰入金は790万円。

7目地域福祉基金繰入金は5,460万円。

8目公共施設等維持管理基金繰入金は2,460万円。

9目学校給食センター管理運営基金繰入金は2,200万円。

10目スポーツ振興基金繰入金は23万2,061円。

11目森林環境譲与税基金繰入金、これは新設の基金で、3万1,000円。

これらをそれぞれの該当する事業に基金を取り崩して充当をしております。

なお、議案説明書、資料ナンバー26に、年度別の基金別増減の状況の一覧をつけておりますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

続きまして、19款繰越金であります。

次のページをお開きください。

1項繰越金1目繰越金1節前年度繰越金は6,028万1,385円で、平成30年度の歳入歳出差し引き額から基金に繰り入れた6,000万円を除いた額と符合しております。

20款諸収入1項延滞金加算金及び過料1目延滞金15万8,920円は、徴税延滞金23件分で、町民税15件、12万420円、固定資産税5件、3万4,300円、軽自動車税3件、4,200円であります。

2目加算金1節加算金は科目存置。

2項町預金利子は2万757円。

3項貸付金元利収入1目家畜導入貸付金収入6,387万6,000円は、約定償還分が、牛244頭、3,812万8,000円、繰上償還分、牛59頭で2,574万8,0

00円であります。

議案説明書、資料ナンバー41に、優良家畜導入支援事業の資料をつけておりますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

2目貸付金元利収入8,000万4,390円は、信用保証協会の貸付金8,000万円のほか、勤労者融資制度貸付金利子などであります。

3目奨学資金貸付金収入であります。次のページをお開きください。1節奨学資金貸付金収入141万8,000円は、高校生3人、大学生6人、うち、重複2名からの償還金であります。

4項雑入1目滞納処分費は科目存置。

2目弁償金3万7,250円は、複写機使用弁償金であります。

3目雑入1節介護予防支援報酬61万8,890円は、介護予防サービス計画作成に係る報酬で、141件分であります。2節の居宅介護支援報酬631万7,900円は、居宅介護サービス計画作成に係る報酬で485件分。3節高齢者福祉施設負担金414万7,272円は、福寿荘の入居者の食事代などの実費負担金。4節学校給食費等1,053万1,190円は、小学生、中学生、保育所、それから職員等の負担金であります。5節電話使用料1万4,220円は、役場庁舎、福祉館など、各施設における電話使用料。6節電気等使用料は13万6,654円。コテージ村などの電気等の使用料であります。7節雑入3,952万8,094円は、大きなものとしまして、介護給付費負担金の精算に伴う返還金、プレミアム付商品券販売収入、移住産業研修センター賄い負担金、健康診査の個人負担金、これらが含まれております。

4目過年度収入531万3,380円は、国・道負担金または補助金の平成30年度事業の精算に伴う追加交付分であります。1節林業費補助金過年度収入205万6,320円。2節子どものための教育・保育給付費負担金234万7,176円。3節障害者福祉費等負担金90万9,737円。

次のページをお開きください。

4節身体障害者更正医療給付費返還金で147円あります。

続きまして、21款町債で、町債につきましては、全体で6億1,667万7,000円あります。内訳は、公共事業等債で6,150万円、公営住宅建設事業債で5,000万円、一般単独債、緊急自然災害防止対策事業分で1,370万円、緊急防災・減災対策債で2,450万円、辺地債1,070万円、過疎債3億8,920万円、臨時財政対策債6,707万7,000円となっております。

1項町債1目総務債は、1節総務債8,960万円で、防災行政無線整備事業ほか2事業、この中には、過疎地域自立促進特別対策事業6,120万円が含まれております。

議案説明書、資料ナンバー28に、この事業の一覧表がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

2目農林水産業債1節農業債3億470万円は、第2上陸別地区畑地帯総合整備事業

外6事業。2節林業債2,840万円は、弥生地区小規模治山事業外3事業。

3目土木債1節道路橋りょう債3,820万円は、弥生橋改修事業ほか3事業。2節住宅建設債5,000万円は、新町団地の公営住宅建設事業。

4目教育債1節教育総務債3,870万円は、教員住宅建設事業。

5目臨時財政対策債1節臨時財政対策債が6,707万7,000円の借り入れとなっております。

なお、議案説明書、資料ナンバー27に、年度別の起債残高等推移の一覧がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

歳入の合計であります。当初予算額43億1,301万7,000円、補正予算額7億9,439万2,000円、繰越明許費1億9,469万7,960円、予算現額は53億210万6,960円、調定額が49億3,251万9,046円に対し、収入済額が49億3,035万2,564円、不納欠損額が19万6,674円、収入未済額が196万9,808円で、一般会計の歳入の決算を終えております。

引き続きまして、歳出の説明に入らせていただきます。

次のページ、41ページをお開きください。

歳出の事項別明細書につきましては、それぞれの科目における主要事業を左側のページに枠で囲い掲載をしておりますので、この主要事業と、それから、支出に係る細かい部分につきましては、歳入同様に説明を省略させていただきまして、大まかに説明をさせていただきますので、あらかじめ御了承ください。

歳出の全体的な資料としましては、議案説明書、資料ナンバー29-1と2に、平成30年度と令和元年度の人件費の比較表、それから、資料ナンバー21に、令和元年度の予算現額に含まれる令和元年度繰越明許事業一覧、資料ナンバー22に、令和2年度に繰り越しとなる令和2年度繰越明許事業一覧がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

それでは、41ページの1款議会費1項議会費1目議会費5,221万7,110円あります。議会費につきましては、議会の運営活動費、議員の報酬、事務局職員の人件費が主な内容となっております。

次に、2款総務費1項総務管理費1目一般管理費2億2,313万8,550円ありますが、この科目では、職員の研修や電算システム更新事業、電算システムに係る北海道自治体情報システム協議会負担金などのほかに、町長、副町長の特別職と、総務課、出納課の職員の人件費、職員福利厚生費、役場庁舎用の消耗品や備品購入などの経費が計上されております。

次のページをお開きください。

44ページのほうを御覧いただきたいと思っております。この科目の不用額についてですが、3節職員手当等では、時間外手当が111万1,754円、9節旅費は、普通旅費で88万4,445円、11節需用費は、庁舎用の消耗品、電算機器に係るソフト等のライ

センスの購入などで41万5,367円が主な内容となっております。

2目の文書広報費3,265万9,461円は、町広報紙の発行ですとか、ホームページ管理事業、庁用の郵便料などの経費、防災行政無線、愛の鐘の機器更新工事などとなっております。なお、防災行政無線機器更新工事は5年計画の4年目でありまして、屋外子局3か所の更新工事であります。

次のページをお開きください。

3目財政管理費64万9,440円は予算書の印刷。

4目会計管理費330万7,837円は、決算書の印刷と、金融機関に対する口座振替、窓口収納、派出事務手数料などであります。

5目財産管理費5億2,671万7,673円は、庁舎、タウンホール、福祉館、公用車の維持管理費、それから、地籍図の修正、基金積立金などの経費のほかに、左側に掲載の主要事業となっております。この科目の不用額につきましては、46ページの11節需用費では、庁舎用の燃料代や光熱水費など63万2,763円、公用車の燃料代で20万5,576円、13節の委託料では、公共施設の除雪業務97万7,311円、福祉バス運行業29万3,064円が主な内容となっております。

次のページをお開きください。

48ページのほうになります。

25節の積立金4億238万3,978円につきましては、議案説明書、資料ナンバー26に、基金別増減の状況の表がありますので、後ほど御覧をいただきたいと思いません。

この基金は、家庭の貯金に当たるものでありますが、一般会計の基金の残高49億9,153万9,287円を、今年の3月31日現在の人口2,334人で割りますと、町民1人当たり213万8,620円となりまして、前年度より2万3,648円少なくなっているという状況であります。

6目町有林野管理費4,008万9,152円につきましては、議案説明書、資料ナンバー30に、町有林管理事業収支一覧がつけてあります。また、主要事業の欄にも詳しく掲載をしておりますので、後ほど御覧をいただきたいと思いません。なお、この中の町有林拡大事業では、5万1,098平米を27万4,917円で購入しまして、平成25年度から令和元年度末までに取得した面積につきましては、167万6,720.17平米となっております。

次に、7目企画費7,772万3,844円であります。

次のページをお開きください。

7目の企画費につきましては、掲載の主要事業が主な内容となっております。令和元年度のみ事業としましては、日本ハムファイターズの応援大使事業ですとか、ラコーム市の姉妹友好提携交流事業、官民連携組織設立事業などがございます。なお、この目には、平成30年度からの繰り越し事業であるまちづくり推進事業140万円、地域活

性化事業50万円、民間活用住宅建設事業460万円、太陽光発電設置事業50万円が含まれております。ふるさと納税促進事業は277万9,801円の支出に対しまして、315件、464万5,500円の納税がありまして、差し引き186万5,699円がプラスとなっております。地域交通利用促進事業であります。この事業のうち、路線バス利用促進の助成事業は、令和元年度の利用延べ人数が2,056人で、前年度より74人の減。十勝バスと北見バスの赤字補填である生活交通確保対策事業は、十勝バスが547万7,000円、北見バスが487万8,000円で、このうち8割が特別交付税で措置されております。通学定期差額補助事業につきましては、高校生の通学定期購入に係る補助でありまして、足寄高校12名、本別高校2名、北見方面が10名、置戸方面1名、合わせて25名に対して補助をしております。

地方創生推進交付金事業につきましては、議案説明書、資料ナンバー31に、地方創生交付金事業実績資料がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

新農林業人材発掘プログラム事業につきましては、昨年9月1日から6日までの期間で、都市部の大学生7人が参加をしております。当町での酪農、林業などの体験を行っております。官民連携組織設立事業につきましては、商工会町内業者の30法人、5個人でありまして、民間が51%、陸別町が49%の割合で出資されております。新会社、株式会社りくべつが令和元年12月18日に設立されたところであります。

50ページの19節負担金補助及び交付金の不用額についてであります。480万2,747円のうちの、地域交通利用促進事業が39万5,836円、通学定期差額補助事業が100万3,600円、地方創生推進交付金事業31万4,770円、移住定住促進住宅建設等補助事業が50万2,300円、民間活用住宅建設事業170万円、太陽光発電設置事業50万円が不用額の主な内容であります。

○議長（本田 学君） 11時15分まで休憩します。

休憩 午前11時02分

再開 午前11時15分

○議長（本田 学君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

早坂副町長。

○副町長（早坂政志君） 50ページの続きに入ります前に、先ほど説明した中で、修正したい点がありますので、説明させていただきます。

決算書の28ページの一番上になりますが、道補助金の林業費補助金の中で、繰り越し事業の林業、木材産業構造改革事業補助金1,500万円とお伝えしたようですが、1億500万円の誤りでありますので、訂正をさせていただきたいと思っております。

それでは、続きまして、50ページの下段から始めさせていただきます。

8目公平委員会は、執行がございませんでした。

9目交通安全対策費は110万2,038円で、例年同様の執行であります。

次のページをお開きください。

10目諸費328万2,724円も例年同様の執行でありまして、19節負担金補助及び交付金には、自治会活動等の促進交付金が含まれております。

11目交流センター管理費は、掲載しております主要事業が主な内容でありまして、令和元年度の利用者数につきましては4,307名で、前年度より184名の増となっております。

議案説明書、資料ナンバー32-1と2に、ふるさと交流センター管理費内訳と、オーロラハウス利用状況がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

次に、12目銀河の森管理費7,341万6,863円であります。

次のページをお開きください。

掲載の主要事業のほか、館長の報酬、職員の人件費などが主な内容となっております。決算額7,341万6,863円の内訳につきましては、天文台関係が4,568万7,834円、コテージ村関係が1,846万7,281円、銀河の森管理関係が241万6,800円、銀河の森専用水道関係が684万4,948円となっております。令和元年度天文台の入館者数ですが、7,407人で、前年度より348名の減、コテージ村の利用棟数につきましては868棟で、前年度より76棟の増となっております。この科目の不用額につきましては、54ページの3節職員手当等で時間外勤務手当が30万7,439円、13節委託料147万9,564円のうち、天文台管理委託で47万1,178円、専用水道の管路修繕で50万円、コテージ村の構内除雪業務で11万7,558円が主な内容となっております。

議案説明書、資料ナンバー33に、銀河の森天文台実績表、資料ナンバー34にコテージ村利用実績がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

13目地域活性化推進費1,765万800円は、掲載の主要事業が主な内容となっております。ミネラルウォーター開発事業では、1万5,000本のミネラルウォーターを製造し、薬用植物研究事業では22品目の栽培調査を行っております。不用額につきましては、54ページの7節賃金で、地域おこし協力隊2名分の賃金32万6,290円と、次のページをお開きいただきまして、9節の旅費、こちらも地域おこし協力隊の普通旅費で41万9,540円が主な内容となっております。

議案説明書、資料ナンバー35に、陸別チャレンジプロジェクト事業資料がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

14目企業誘致対策費は、普通旅費で1万1,000円の執行であります。

続きまして、2項徴税費1目税務総務費3,554万6,641円ありますが、この科目は、税の還付加算金のほか、職員の人件費などで、例年同様の執行であります。

次のページをお開きください。

23節の償還金利子及び割引料361万400円につきましては、町民税などの還付金が、個人町民税50件、298万2,200円。法人町民税7件、59万7,000

円。固定資産税7件、2万6,400円。還付加算金が法人町民税2件、4,800円となっております。この科目の不用額についてですが、56ページの3節職員手当等のうち、時間外勤務手当が45万8,577円、23節償還金利子及び割引料は徴税等の還付金で40万2,400円、還付加算金で4万5,200円であります。

2目賦課徴収費542万8,137円は、13節委託料で、固定資産税評価替え業務143万円。18節備品購入費で、国税連携システム用パソコン購入で31万3,200円が昨年より増となっております。それ以外につきましては、例年同様の執行となっております。なお、十勝市町村税滞納整理機構への負担金は54万1,817円で、道民税も含めました引き継ぎ額につきましては61件、109万601円、収納額が50件、85万3,571円となっております。

議案説明書、資料ナンバー24に、十勝税滞納整理機構への引継額、収納額がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

3項戸籍住民基本台帳費1目戸籍住民台帳費2,468万7,880円は、戸籍総合システムの機器更改で753万1,920円、住民基本台帳ネットワークサーバー機器更改等で80万8,685円が昨年度より増となっておりますが、それ以外につきましては、職員の人件費のほか、例年同様の執行となっております。

次のページをお開きください。

4項選挙費1目選挙管理委員会費614万1,460円と、2目選挙啓発費3,850円は、選挙管理委員会委員の報酬や職員の人件費など、例年同様の執行であります。

3目知事道議会議員選挙費159万5,135円は、昨年4月7日執行の知事、道議会議員選挙に係る経費159万5,135円で、道委託金として148万7,763円が入っております。3節の職員手当等の不用額52万2,605円は、投開票に従事する職員の時間外勤務手当であります。

次のページをお開きください。

4目町長町議会議員選挙費213万9,841円は、昨年4月の町長町議会議員選挙に係る経費であります。選挙は定数内の立候補者数であったために、317万4,159円の不用額が生じております。1節報酬は委員報酬で29万3,250円。3節職員手当等は、時間外勤務手当120万9,989円。11節需用費は30万1,728円、このうち入場券の印刷代で20万5,158円。12節役務費は128万9,252円、このうち郵便料で122万1,511円などが主な内容となっております。

5目の参議院議員選挙費は、昨年7月21日執行の参議院議員選挙に係る経費346万4,371円で、国から委託金が同額が入っております。

次のページをお開きください。

3節の職員手当等の不用額65万4,553円は、投開票に従事する職員の時間外勤務手当であります。

5項統計調査費1目指定統計調査費53万36円は、経済センサス基本調査、農林業

センサス、工業統計調査に係る指導員及び調査員の報酬ですとか消耗品費などとなっております。

6項監査委員費203万190円は、例年同様の執行であります。

次のページをお開きください。

続きまして、3款民生費1項社会福祉費1目社会福祉総務費3億6,551万2,353円であります。掲載の主要事業のほか、職員人件費、福祉住宅からまつハウスの管理経費、それから、障害者自立支援費、国民健康保険事業勘定特別会計、介護保険事業勘定特別会計の繰出金などが含まれております。なお、消費税増税に対応しまして国の制度として実施されましたプレミアム付商品券事業の事業費の合計は402万1,079円となっております。この科目の不用額につきましては、3節職員手当等のうち、時間外勤務手当が31万5,129円、15節工事請負費は、防犯灯の新設的工事費で34万5,200円、19節負担金補助及び交付金のうち100万8,000円がプレミアム付商品券の精算分であります。

次のページをお開きください。

20節扶助費は、各種医療費助成分が59万4,701円、更正医療分75万6,199円、障害者介護給付費120万4,268円、障害者訓練等給付費211万8,790円が主な内容であります。28節の繰出金につきましては、国民健康保険事業特別会計への繰出金が2,338万6,824円、介護保険事業勘定特別会計への繰出金が4,279万6,000円となっており、不用額585万8,176円につきましては、国民健康保険事業勘定特別会計繰出金であります。

議案説明書、資料ナンバー36に、社会福祉総務費分の民生費事業実績状況、資料ナンバー37に、プレミアム付商品券事業の資料がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

次に、2目老人福祉費であります。掲載の主要事業のほか、老人健康増進センターふれあいの郷、高齢者交流センターなどの管理運営費、居宅介護支援事業設置事業費などが含まれております。なお、デイサービスセンターの延べ利用者数につきましては2,727人で、昨年度より61人の減、介護予防・日常生活支援総合事業の延べ利用者数は153人で、前年度より63人の増となっております。この科目の不用額であります。11節需用費のうち、ふれあいの郷の燃料代が11万2,735円、居宅介護支援事業所設置事業費の消耗品費で20万8,539円、各施設の修繕料38万3,571円。13節委託料のうち、福寿荘の設備保守管理、これはスプリンクラーの保守管理ですが、排水作業の作動がなかった分で32万2,360円。19節負担金補助及び交付金では、デイサービス運営事業で76万4,514円、介護予防・日常支援総合事業で41万5,879円、介護職員資格取得助成事業で30万円が主な内容となっております。

議案説明書、資料ナンバー38に、老人福祉費分の民生費事業実績状況がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

次に、3目後期高齢者医療費5,346万5,499円であります。

次のページをお開きください。

19節の負担金補助及び交付金は、北海道後期高齢者医療広域連合への負担金。28節繰出金は、後期高齢者医療特別会計への繰出金であります。

次に、2項児童福祉費1目児童福祉総務費758万4,762円ありますが、この科目は、掲載の主要事業のほか、児童施設等への通所に係る交通費助成ですとか、障害児の自立支援給付費などの経費が含まれております。20節扶助費の不用額38万2,698円のうち、28万5,000円は身体障害児補装具交付事業分であります。

2目児童福祉施設費5,287万3,946円は、前年度に比べて子育て支援システム改修に係る北海道自治体情報システム協議会への負担金252万7,200円が増となっております。このほか、掲載の主要事業のほか、保育所に従事する職員の人件費、臨時職員の賃金などが計上されておまして、例年同様の執行であります。

議案説明書の資料ナンバー39に、児童福祉関係の実施状況がつけてありますので、御覧をいただきたいと思いますが、その中に保育所の登録児童数も参考として掲載しております。後ほど御覧をいただきたいと思います。

次のページをお開きください。

3目児童措置費2,275万5,000円は、児童手当の支給でありまして、主要事業に記載のとおりであります。

3項国民年金費1目国民年金事務取扱費943万8,699円は、例年同様の執行であります。

次のページを御覧ください。

4款衛生費1項保健衛生費であります。1目保健衛生総務費5,510万8,703円は、陸別歯科診療所備品等の購入事業で829万円、養育医療費、未熟児で、対象は2名になりますが、121万4,031円が増となっておりますが、職員の人件費、保健事業に係る事務経費など、例年同様の執行であります。3節の職員手当等の不用額は、時間外勤務手当の55万3,660円が主な内容であります。

2目保健衛生施設費3,392万1,876円は、保健センター、公衆浴場の管理運営関係で、保健センター分が2,447万8,993円、公衆浴場分が944万2,883円の執行となっております。公衆浴場歩行浴施設の利用者数につきましては、合計で8,161名、前年度より388名の減となっております。なお、保健センター診療所の改修事業につきましては、4年計画のうち3年目で、昨年同様、設置機器の更新工事を行っております。この科目の不用額につきましては、11節需用費のうち、保健センター公衆浴場の燃料代が52万31円。

次のページをお開きいただきまして、13節委託料で、施設設備保守管理業務で32万7,991円が主な内容となっております。

3目予防費1,582万3,128円は、各種検診、予防接種など、主要事業の掲載事

業が主な内容となっております。受診等の実績であります。各種健診の延べ人数が1,210名で、昨年より10名の減、健康診査の延べ人数が204名で、昨年度より9名の減、予防接種の延べ人数が903名で、昨年度より28名の減となっております。13節の委託料の不用額は、各種検診事業で59万6,179円、各種予防接種事業で13万8,100円が主な内容となっております。

議案説明書、資料ナンバー42、各種検診、健康診査、予防接種、療育指導などの衛生費事業実績状況の一覧がつけてありますので、後ほど御覧ください。

4目の環境衛生費647万9,944円は、陸別墓地の階段補修委託業務で225万7,200円が増となったほかは、例年同様の執行であります。

次のページをお開きください。

5目診療所費1億3,547万6,000円は、国民健康保険直営診療施設勘定特別会計への繰出金であります。このうち6,566万円が普通交付税と特別地方交付税により財源措置されております。

2項清掃費1目清掃総務費440万4,635円は、主要事業への掲載事業が主な内容であります。なお、この目では、平成30年度からの繰り越し事業であります下水道建設負担金事業6,000円が含まれております。この科目の不用額につきましては、19節負担金補助及び交付金のうち、し尿搬送助成金53万8,900円が主な内容であります。

2目塵芥処理費7,860万1,942円も、掲載の主要事業が主な内容であります。令和元年度よりごみの分別方法が変わりましたが、ごみ等の収集量の合計につきましては、637.9トンで、昨年度より180.3トン多くなっております。不用額は、11節需用費のうち、指定ごみ袋購入等で49万7,508円、19節負担金補助及び交付金の422万4,000円は、十勝圏複合事務組合の負担金で、実績減によるものであります。

次のページをお開きください。

3項水道費1目専用水道費534万6,865円は、小利別から下敷別までの専用水道に係る経費でありまして、今年の3月末の給水戸数は20戸、前年より2戸減となっております。13節委託料の不用額は、管路等の修繕料で58万1,000円が主な内容であります。

2目水道費1億727万9,000円は、簡易水道事業特別会計への繰出金であります。

続きまして、5款労働費1項労働諸費であります。

1目労働諸費105万248円は、掲載の主要事業のほか、前年同様の執行であります。

2目緊急雇用対策費1,064万7,343円は、緊急雇用対策事業であります。繰越明許費分と現年度分を合わせまして、林業2社、建設業2社、建築業1社の合計5

社、延べ88名の雇用となっております。なお、平成30年度からの繰越分は318万8,928円であります。

次のページをお開きください。

この科目の不用額であります。いずれも作業実績に伴うものでありまして、13節委託料が284万6,079円、14節使用料及び賃借料が69万3,314円となっております。これはチェーンソーを使用する作業が当初見込みより少なかったことによるものであります。

3目雇用再生対策費831万円は、地元雇用促進事業で、平成30年度からの繰り越し事業分168万円が含まれております。新規雇用が13名、継続雇用が4名の計17名であります。17名の分野別では、農業が6名、林業が2名、商業が3名、建設業が1名、福祉関係が5名となっております。なお、この新規雇用の13名のうち、福祉関係の1名が途中退職しておりまして、承認辞退の申し出によりまして補助をしておりませんので、実際に補助した数は12名となっております。不用額は全て本事業の補助金でありまして、実績に基づくものであります。

続きまして、6款農林水産業費1項農業費1目農業委員会費1,695万7,466円ありますが、職員の人件費のほか、例年同様の執行であります。

次のページをお開きください。

2目農業総務費6,858万858円は、職員の人件費であります。3節職員手当等の不用額につきましては、時間外勤務手当26万6,327円が主な内容であります。

3目農業振興費7,190万737円は、掲載の主要事業が主な内容でありまして、例年同様の執行状況であります。19節負担金補助及び交付金の不用額177万5,198円は、農業近代化資金の利子補給事業補助金で79万1,524円、農林推進協議会運営事業補助金で67万4,116円が主な内容となっております。

4目畜産業費1億5,927万8,909円は、バイオガスプラント建設事業補助金1億187万2,540円が増となるほか、掲載の主要事業が主な内容であります。なお、バイオガスプラント建設事業補助金は総額で4億円の町補助金の支出を予定しており、次年度以降で残りの2億9,812万7,460円を補助することとなります。

次のページをお開きください。

この目では、畜産酪農収益力強化整備特別対策事業、畜産クラスター事業で、2億2,003万円が令和2年度への繰越事業として計上されております。19節負担金補助及び交付金の不用額1,349万円につきましては、優良家畜導入貸付金分であります。

議案説明書、資料ナンバー41に、優良家畜導入支援事業の資料がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

続きまして、5目農地費1億5,041万9,310円、こちらも掲載の主要事業が主な内容となっております。この目には、平成30年度の繰越明許事業としまして、農業競争力強化基盤整備事業1,499万5,835円、令和2年度にはトマム地区道営農業

農村整備事業6,368万6,000円が繰越明許事業として計上されております。

6目営農用水管理費1億1,510万905円は、上陸別地区及びトラリ地区の営農用水の管理費のほか、掲載の主要事業が主な内容であります。上陸別地区が1億928万6,947円、トラリ地区が581万3,958円の内訳となっております。この目には、平成30年度の繰越明許費事業としまして、第2上陸別地区の道営担い手畑地帯総合整備事業4,671万4,627円、令和2年度にも同じ事業で3,885万6,000円が繰越明許事業として計上されております。

次のページを御覧ください。

この科目の不用額になりますが、11節需用費のうち、上陸別、トラリ地区の水道施設用の燃料代で31万177円、13節委託料は、通常の管理運営に係る管路等修繕などの委託料で、上陸別地区が64万6,600円、トラリ地区が50万1,360円が主な内容となっております。給水戸数につきましては、昨年3月末で、上陸別地区は32戸で3戸の増、トラリ地区は前年と同じく18戸であります。

7目公共草地管理費616万4,531円は、主要事業に掲載しておりますトラリ地区公共草地配電線路災害復旧事業で399万6,000円の執行のほかに、例年同様の執行状況であります。

8目農畜産物加工研修センター管理費1,611万7,222円も、職員の人件費のほか、例年同様の執行であります。なお、年間の施設の利用回数は254回でありまして、前年度より24回の減となっております。

議案説明書、資料ナンバー42に、加工センターの月別利用実績がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

次のページをお開きください。

2項林業費1目林業振興費1億8,507万4,042円ではありますが、平成30年度からの繰越明許事業の陸別町林業木材産業構造改革事業1億500万円のほか、掲載の主要事業が主な内容であります。

次のページをお開きください。

92ページの19節負担金補助及び交付金の不用額につきましては、補助金の民有林業造林促進事業で45万4,058円、林業長期就労促進担い手対策事業で35万円、退職金共済事業加入促進事業で52万1,262円が主な内容となっております。

議案説明書、資料ナンバー43に、未来につなぐ森づくり推進事業、民有林造林促進事業、資料ナンバー44に、森林作業員就業条件整備事業、林業長期就労促進担い手対策事業、退職金共済制度加入促進事業の資料がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

また、資料ナンバー45には、2款の総務費、銀河の森管理費、6款の農林水産業費の林業費、8款土木費におけます補助、交付金起債対象事業の建設工事に係る一覧表もつけてありますので、こちらも後ほど御覧をいただきたいと思っております。

2目狩猟費472万6,972円につきましては、有害鳥獣駆除事業の関係で、掲載の主要事業が主な内容で、例年同様の執行状況であります。この科目の不要額につきましては、7節賃金で、ハンターの賃金66万2,000円、8節の報償費はハンターへの駆除奨励金で63万5,548円が主な内容であります。

3目の林道新設改良費3,955万6,564円は、林道の開設・改良工事、あるいは維持管理の事業でありまして、こちらも掲載の主要事業が主な内容であります。

次のページをお開きください。

続きまして、7款商工費1項商工費1目商工総務費1,953万5,927円は、人件費の計上であります。

2目商工振興費1億1,692万4,893円は、例年同様、主要事業に掲載された内容のとおりであります。なお、商工振興事業補助金のプレミアム商品券につきましては、プレミアム率20%で、7月と11月で合わせて4,000セット、9万6,000枚を販売しまして、9万5,859枚が使用されております。日産自動車購入費助成につきましては、8台分の助成であります。19節負担金補助及び交付金の不用額についてであります。中小企業融資制度保証料補給が162万6,804円、中小企業経営安定資金利子補給が78万5,195円、商工振興事業204万6,868円、商業活性化施設運営事業30万1,157円、日産自動車購入助成が169万784円、これが不用額の主な内容となっております。

3目観光費2,161万4,720円も、掲載の主要事業のとおりでありまして、例年同様の執行であります。9節旅費の不用額につきましては30万6,840円でありまして、観光物産館の管理運営、出展、販売等に係る普通旅費であります。

4目公園費644万1,260円も、公園等の管理に係る経費など、掲載の主要事業のとおりの内容であります。

次のページをお開きください。

5目消費者対策費96万4,084円も例年同様の執行であります。消費生活相談窓口開設につきましては月2回、消費生活支援事業、くらし塾については月1回の開設となっております。

続きまして、8款土木費1項土木管理費であります。

1目土木総務費4,684万5,602円につきましては、職員人件費、旅費、樋門・樋管管理などに係る経費で、例年同様の執行であります。3節の職員手当等の不用額につきましては、時間外勤務手当57万5,593円が主な内容であります。

次のページをお開きください。

2項道路橋りょう費1目道路橋りょう総務費1,701万8,550円であります。内容は、ダンプやグレーダーなどの公有車両の管理経費のほか、掲載の主要事業のとおりであります。この科目の不用額は、11節需用費では、車両用の消耗品が308万5,425円、燃料費が157万7,100円、修繕料が131万135円。12節の役務費のう

ち、車両運搬費で20万7,100円。これらが主な内容であります。

2目道路維持費1億2,380万4,816円は、町道の道路維持に係る経費でありまして、こちらも掲載の主要事業のとおりの内容となっております。この科目の不用額につきましては、11節需用費のうち、道路維持用消耗品費で48万2,257円、13節の委託料は、除排雪業務が1,004万6,866円、道路維持補修に係る経費で26万7,700円が主な内容となっております。

3目の橋りょう維持費5,833万1,720円は、町道の橋の維持に係る経費でありまして、こちらも掲載の主要事業のとおりの内容であります。

次のページをお開きください。

4目道路新設改良費2,154万5,179円は、町道の道路整備や舗装工事などに係る経費であります。前年度の4路線に対しまして、令和元年度は主要事業に記載の1路線のみとなっております。

5目街路灯費937万6,533円は、街路灯の維持管理に係る経費とLED化工事が主な内容であります。令和元年度の街路灯LED化工事につきましては10基を実施しております。これによりまして、街路灯182基のうち121基がLEDに変わっております。

3項河川費1目河川総務費713万968円は、普通河川の護岸補修等で、掲載してある主要事業のとおりであります。

次に、4項住宅費であります。

次のページを御覧ください。

1目住宅管理費2,881万6,405円は、町営住宅の維持管理に係る経費であります。内容につきましては、主要事業に記載のとおりであります。管理戸数は前年度より6戸増、空き家も15戸増、修繕は11戸の減となっております。

2目住宅建設費1億3,774万1,708円であります。この科目は、公営住宅の建設、解体、外構工事、改修工事などでありまして、令和元年度は新町交流館の解体、実施設計委託業務のほか、新町団地の公営住宅Q、R棟の建設が主な内容であります。

5項下水道費1目下水道費9,176万8,000円は、公共下水道事業特別会計への繰出金であります。

次のページをお開きください。

9款消防費1項消防費1目消防費1億6,559万3,041円は、十勝広域消防事務組合への負担金が1億5,231万2,000円、陸別消防団に係る費用が1,328万1,041円の内訳となっております。3月31日現在における陸別消防団の団員数であります。48名でありまして、この年度中につきましては、新加入が1名、退団が4名となっております。不用額は、9節の旅費で44万2,180円、これは消防団員の出勤手当等の費用弁償、19節負担金補助及び交付金は、消火栓の年間維持負担金31万3,000円が主な内容であります。

2目災害対策費52万3,425円は、防災行政無線の保守管理ですとか、防災備蓄品の購入経費などとなっております。前年度と比較しますと、約900万円の減となっておりますが、これは前年度にJアラートの機器の更新をしたことによる差となっております。

次のページをお開きください。

10款教育費1項教育総務費であります。1目教育委員会費160万2,983円は、例年同様の執行であります。

2目事務局費1億4,249万6,731円は、職員の人件費のほか、掲載の主要事業などの内容となっておりますが、教職員住宅の建て替え1棟2戸、奨学資金の貸し付けは、大学等で8名、高校4名となっております。3節職員手当等の不用額につきまは、時間外勤務手当の59万9,842円が主な内容となっております。

次のページをお開きください。

3目教育振興費1,286万4,693円は、掲載の主要事業が主な内容でありまして、例年同様の執行であります。

次のページをお開きください。

4目スクールバス運行管理費3,133万8,859円も例年同様の執行状況であります。スクールバスの利用状況につきましては、主要事業に記載の表のとおりであります。が、トータルで前年度より991人の利用減となっております。

5目教育研究所費40万5,400円につきましては、例年同様の執行であります。

2項小学校費1目学校管理費2,099万823円は、小学校の多目的ホール側の軒天改修工事165万円のほかは、例年同様の執行状況であります。11節需用費の不用額は、小学校の燃料代で16万6,483円、施設及び備品の修繕料で18万1,900円が主な内容となっております。なお、児童数につきましては、令和元年度3月末日で、1年生が17名、2年生が22名、3年生が16名、4年生が16名、5年生20名、6年生17名の合計108名であります。

次のページをお開きください。

2目教育振興費805万2,854円も例年同様の執行でありまして、内容も主要事業に記載のとおりであります。なお、就学援助の扶助の準要保護は前年度より3名の増、特別支援教育につきましては4名の増となっております。また、この目には、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業で1,447万4,000円が令和2年度への繰越明許事業として計上されております。

3項中学校費1目学校管理費1,863万1,058円も例年同様の執行であります。11節需用費の不用額は、小学校と同じく、燃料代で69万1,971円が主な内容であります。生徒数であります。令和2年3月末日現在で、1年生14名、2年生13名、3年生13名の合計40名であります。

次のページをお開きください。

2目教育振興費537万2,760円も例年同様の執行状況でありまして、内容も主要事業に記載のとおりであります。なお、就学援助の扶助の準要保護は前年度より2名の減、特別支援教室は2名で、前年と変わりがございません。また、この目には、小学校と同じく、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業で1,218万5,000円が令和2年度への繰越明許事業として計上されております。

4項社会教育費1目社会教育総務費1,721万3,940円も例年同様の執行状況でありまして、主要事業に記載の内容のとおりであります。

次のページをお開きください。

この目での学童保育所の登録児童数になりますが、令和2年3月で34名、前年度より2名の増であります。なお、中学生等海外研修派遣事業への参加生徒数は13名で、前年度より1名の減。冒険・体感inとうきょう事業の参加児童数は14名、前年度より1名の減となっております。19節負担金補助及び交付金の不用額は、文化芸術鑑賞事業補助金の45万5,456円が主な内容であります。

2目公民館費1,088万9,943円で、例年同様の執行状況でありまして、内容も主要事業に記載のとおりであります。公民館図書室の利用者数につきましては、前年度より246名の減、視聴覚室の利用者数は前年度より402名の減となっております。11節需用費の不用額につきましては、公民館の燃料代で42万9,020円が主な内容であります。

3目文化財保護費115万4,961円も例年同様の執行でありまして、内容についても主要事業に記載のとおりであります。なお、関寛斎資料館の入館者数につきましては、前年度より38名の減となっております。

次のページをお開きください。

○議長（本田 学君） 午後1時まで休憩いたします。

休憩 午前11時59分

再開 午後 1時00分

○議長（本田 学君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

早坂副町長。

○副町長（早坂政志君） それでは、次に移ります前に、午前中、説明した中で、一部間違いがございましたので、訂正をさせていただきたいと思っております。

73ページになります。

73ページの下に公衆浴場の施設の業務委託のところがあると思いますが、浴場利用者の8,161人に変わりはございませんが、説明の中で、昨年より388人減となったと説明させていただきましたが、増の誤りでございます。388人多くなったということでありまして。歳入では増ということで説明を申し上げますので、歳入での訂正はございません。

それでは、次に、117ページからを御覧いただきたいと思っております。

117ページからの、5項保健体育費1目保健体育総務費255万1,307円、こちらにつきましては、例年同様の執行でありまして、内容につきましても、主要事業に記載のとおりであります。社会体育関係の主要事業に記載してありますスポーツ教室等についてであります。前年度と比較しまして3日、178人の減。各種大会等の開催につきましても、昨年度より1大会、2日、延べ参加者数で18人の減となっております。19節負担金補助及び交付金の不用額につきましては、スポーツ振興基金運用事業交付金の20万7,939円が主な内容であります。

2目体育施設費1,667万9,061円は、前年度、若葉パークゴルフ場の排水整備工事で909万3,600円の執行がありましたので、この分が減額となっておりますが、その他につきましては例年同様の執行でありまして、内容も主要事業に記載のとおりであります。

次のページをお開きください。

3目学校給食費5,484万7,401円も、例年同様の執行状況でありまして、職員の人件費のほか、給食センターの管理運営費となっております。令和元年度に提供しました給食の食数であります。前年度より2,793食の減となっております。

次に、11款災害復旧費1項農林水産業施設災害復旧費1目農業用施設災害復旧費10万3,188円であります。

次のページをお開きください。

2目農業用施設災害復旧費4万177円、それから、2項の公共土木施設災害復旧費1目道路橋りょう災害復旧費4万2,471円、こちら、両方とも、昨年度は災害復旧工事がございましたので、事務経費のみの執行となっております。

12款公債費1項公債費1目元金5億1,738万5,212円及び2目利子2,844万9,791円につきましては、議案の説明資料、資料ナンバーの27に、起債残高等推移の資料をつけておりますので、後ほど御覧ください。なお、一般会計の残額は45億9,820万1,000円でありまして、前年度末より9,929万2,000円の増となっております。これを今年の3月末の人口2,334人で割りますと、町民1人当たり197万94円となりまして、前年度より6万2,160円の増となっております。

13款予備費につきましては、6件、242万4,605円を充当しております。

次のページをお開きください。

歳出の合計となります。当初予算43億1,301万7,000円、補正予算額7億9,439万2,000円、繰越明許費1億9,469万7,960円、予算現額につきましては53億210万6,960円、支出済額は48億1,240万1,159円、翌年度への繰越明許費は3億4,923万1,000円、不用額が1億4,047万4,801円、予算流用につきましては18件、13万3,041円でありまして、一般会計の歳出の決算を終えております。

続きまして、125ページをお開きください。

125ページは、一般会計の実質収支に関する調書、単位は千円であります。

歳入総額が49億3,035万3,000円、歳出総額は48億1,240万2,000円、歳入歳出差引額が1億1,795万1,000円、繰越明許費繰越額が1,145万2,000円で、実質収支額は1億649万9,000円であります。

なお、繰越明許費繰越額1,145万2,000円は、令和2年度への繰越額3億4,923万1,000円から未収入特定財源3億3,777万9,000円を除いた額となっております。実質収支額の2分の1以上となる6,000万円を財政調整基金に積み立てることとしまして、残りの4,649万9,000円が次年度への繰越金となります。

続きまして、126ページをお開きください。

126ページからは、財産に関する調書であります。

まず、1、公有財産、(1)土地及び建物、ア、総括で、行政財産と普通財産に区分をされております。これの合計欄を御覧いただきたいと思っております。土地、地籍の年度中の増減につきましては、2万8,674.84平米の増で、決算年度末現在高は3,236万8,149.28平米であります。建物の木造と非木造の延べ面積の年度中の増減は613.5平米の増で、決算年度末現在高は6万5,351.29平米であります。

この土地、建物の行政財産の内訳につきましては、127ページと136ページに、普通財産の内訳は128ページと、137ページにありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

続きまして、129ページをお開きください。

(2)の山林についてであります。こちらも後ほど御覧をいただきたいと思っております。

(3)の有価証券の関係です。令和元年度の増減が448万円、これは株式会社りくべつへの出資485万円と、帯広空港ターミナルビル株式会社の株式譲渡による37万円の減額であります。

次に、(4)の無体財3件は、陸別百恋水の商標権でありまして、本来なら平成26年2月14日の登録に伴いまして、この決算書にも掲載するところではありますが、掲載されておりましたので、今回、掲載漏れが判明した令和元年度の決算書より掲載をさせていただいております。大変申しわけございませんでした。なお、この登録の期間についてであります。令和5年2月13日までの10年間となっておりますので、それを申し添えたいと思っております。

このほか、出資による権利は130ページ、物品は131ページから132ページ、備品は133ページから134ページ、債権と3月31日現在の基金につきましては135ページに掲載しておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

以上で、議案第61号の説明を終わります。次に、議案第62号の説明に移りたいと思っております。

議案第62号は、令和元年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算につ

いてであります。

この国民健康保険制度につきましては、御承知のとおり、持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律に基づきまして、平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体となっております。このことを踏まえまして、まず、決算書の説明資料により説明いたしますので、172ページをお開きください。

172ページの説明資料につきましては、第1表、国民健康保険事業状況最近年度比較表であります。この事務職員数から保険税徴収回数までは前年度と変わっておりません。年間平均世帯数は前年度より10世帯の減、年間平均被保険者数は前年度より36人の減、1世帯当たりの税調定額は前年度より6,502円の減、1人当たりの税調定額は前年度より276円の減、1人当たりの療養諸費費用額は前年度より2万2,434円の増、受診率は前年度から見ると13.6ポイントの減であります。

次に、第2表、令和元年度歳入歳出決算の総括であります。

予算額4億4,447万8,000円、歳入の決算額4億2,754万5,704円、歳出の決算額4億1,738万3,512円、差し引き額1,016万2,192円でありまして、これは令和2年度への繰越金となります。なお、歳出の執行率は93.9%であります。

次のページを御覧ください。

第3表、歳入実績最近年度比較表であります。

1款国民保険税から合計までの科目ごとの平成30年度と令和元年度の金額及び比率などについては、表のとおりであります。令和元年度の歳入の合計につきましては、調定額4億2,854万8,201円、収入済額4億2,754万5,704円で、収入済額を前年度と比較しますと805万5,347円の増となっております。

このうち、1款国民健康保険税につきましては、収入済額が8,173万2,225円、歳入に占める割合は19.1%で、前年度比1.3ポイントの減。不納欠損額はなく、収入未済額が100万2,497円で、収納率は98.8%、前年度比1.6ポイントの増となっております。

次のページをお開きください。

第4表、歳出実績最近年度比較表であります。

1款総務費から合計までの科目ごとの平成30年度と令和元年度の金額及び比率などにつきましては、表のとおりであります。

令和元年度の歳出の合計は、支出済額で4億1,738万3,512円で、前年度と比較しますと640万110円の増。不用額は2,709万4,488円、これを前年度と比較しますと、213万3,890円、執行率は93.9%、前年度比0.4ポイントの減となっております。

次のページの第5表、国民健康保険税収納額最近年度比較表であります。

左側が現年課税分、右側が滞納繰越分でありまして、現年課税分は、調定額8,043

万3,300円、収入済額は8,028万1,565円で、前年度と比較しますと342万3,335円の減、収入未済額は15万1,735円で、前年度と比較しますと126万7,565円の減、収納率は99.8%であります。滞納繰越分は、調定額230万1,422円、収入済額は145万660円、前年度と比較しますと21万6,418円の減。収入未済額は85万762円で、前年度と比較しますと9万5,160円の減。収納率は63%であります。現年度課税分と滞納繰越分を合わせました収入未済額は19件で、100万2,497円となります。なお、収入済額の中には、十勝市町村税滞納整理機構より19万9,681円が入金されております。

次の、第6表、最近5か年間の決算額調べは、ここに記載のとおりでありますので、後ほど御覧ください。

以上で、説明資料の説明を終わりました、次に、陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の事項別明細書の説明を行いますので、150ページをお開きいただきたいと思っております。

150ページ、歳入からの説明であります。

1款国民健康保険税1項国民健康保険税1目一般被保険者国民健康保険税は8,173万2,225円の収入であります。令和元年度末の世帯数は414世帯、被保険者数は640人で、前年度より13世帯、44人の減となっております。1節現年課税分の収入済額は8,028万1,565円、収入未済額は7件、15万1,735円で、前年度より7件の減であります。このうち、8月末までに、5件、11万2,835円が納入されております。2節滞納繰越分の収入済額は145万660円、収入未済額は12件、85万762円で、前年度より7件の減であります。このうち、8末日までに4件、14万9,087円が納入されております。

2目退職被保険者等国民健康保険税は、令和元年度末の被保険者数はございません。当初予算において、1節現年課税分、2節滞納繰越分で科目存置しておりましたが、収入等はございませんでした。

2款国庫支出金も科目存置で、災害があった場合の対応科目であります。令和元年度の収入はございません。

3款道支出金1項道負担金1目保険給付費等負担金3億1,378万216円あります。1節保険給付費等交付金、普通交付金2億3,101万8,216円は、歳出の2款保険給付費に対応する金額となっており、不足額11万3,451円は令和2年度に精算交付される予定となっております。この2節保険給付費等交付金の特別交付金8,276万2,000円は、保険者努力支援分133万6,000円、特別調整交付金7,102万1,000円、道繰入金930万7,000円、特定健診負担金109万8,000円の内訳となっております。

次に、4款財産収入であります。

次のページをお開きください。

1 項財産収入 1 目利子及び配当金は、基金の利息 8 4 円。

5 款繰入金 1 項他会計繰入金 1 目一般会計繰入金 2, 3 3 8 万 6, 8 2 4 円は、1 節保険基盤安定繰入金 1, 8 4 7 万 8, 8 2 4 円が低所得者の 7 割、5 割、2 割の保険料軽減分と保険者支援分であります。これにつきましては、一般会計の歳入において、国と道から合わせて 4 分の 3 の 1, 3 8 5 万 9, 1 1 6 円が入っております。2 節事務費繰入金は、財源調整により繰り入れがありません。3 節出産育児一時金等繰入金は 2 8 万円の 3 件分、8 4 万円。4 節財政安定化支援事業繰入金は、普通地方交付税への算入額 4 0 6 万 8, 0 0 0 円であります。

2 項基金繰入金 1 目国民健康保険基金繰入金は、財源が確保できましたことから、繰り入れを行っておりません。

6 款繰越金は、前年度繰越金で 8 5 0 万 6, 9 5 5 円。

次に、7 款諸収入であります。

次のページをお開きください。

1 項延滞金加算金及び過料 1 目一般被保険者延滞金 1 1 万 5, 4 0 0 円は、2 3 件分であります。

以下、2 目退職被保険者等延滞金から 4 目退職被保険者等加算金までは科目存置。

2 項雑入 1 目一般被保険者等第三者納付金から 4 目退職被保険者等返還金までも科目存置であります。

次のページをお開きください。

5 目療養給付費負担金から 7 目特定健康診査等負担金までも同じく科目存置。

8 目雑入 2 万 4, 0 0 0 円につきましては、健康診断の個人負担分 1 2 名分であります。

歳入の合計になりますが、当初予算額 3 億 9, 1 4 0 万 5, 0 0 0 円、補正予算額 5, 3 0 7 万 3, 0 0 0 円で、予算現額は 4 億 4, 4 4 7 万 8, 0 0 0 円、調定額 4 億 2, 8 5 4 万 8, 2 0 1 円に対し、収入済額が 4 億 2, 7 5 4 万 5, 7 0 4 円、収入未済額が 1 0 0 万 2, 4 9 7 円で、歳入の決算を終えております。

続きまして、歳出の説明に移ります。

1 5 8 ページになります。

歳出であります。

1 款総務費 1 項総務管理費 1 目一般管理費 2, 4 4 8 万 7, 8 6 7 円は、国保会計の事務経費や国保連合会への負担金など、9 節旅費から 2 5 節積立金まで、例年同様の執行となっております。なお、2 5 節積立金は、令和元年度と令和 2 年度の前期高齢者の納付金の精算が保留となっておりますことから、基金に積み立てておくものであります。納付金の精算は、令和 2 年度から 5 年度までの 4 か年で行われることとなっております。

2 目連合会負担金は、1 9 節負担金補助及び交付金 4 6 万 2, 4 6 7 円で、例年同様の

執行であります。

2項徴税費1目賦課徴収費45万2,821円は、11節需用費及び12節役務費が例年同様の執行、19節負担金補助及び交付金は十勝市町村税滞納整理機構への負担金23万9,183円でありまして、22件、33万522円を引き継ぎまして、15件、19万9,681円が収納されております。

3項運営協議会費1目運営協議会費3万8,050円であります。

次のページをお開きください。

1節報酬から9節旅費まで、例年同様の執行であります。

次に、2款保険給付費であります。項目ごとに前年度と比較しますと、1項療養諸費1目一般被保険者療養給付費1億9,943万4,131円は、75万6,858円の増。

2目退職被保険者等療養給付費は支出がございませんので、13万9,181円の皆減。

3目一般被保険者療養費359万1,893円は、10万8,543円の減。

4目退職被保険者等療養費は支出がなく、増減もございません。

5目審査支払手数料57万9,954円は、1万2,680円の減。

2項高額療養費1目一般被保険者高額療養費2,617万5,269円は、129万410円の減。

次のページをお開きください。

2目退職被保険者等高額療養費から3項の移送費、2目退職被保険者等移送費までは科目存置となっております。

4項出産育児諸費1目出産育児一時金は、3件分、126万円で、42万円の増。

2目審査支払手数料は、共同電算業務420円であります。

5項葬祭諸費1目葬祭給付費は科目存置。

次のページをお開きください。

2目葬祭費は、3件分、9万円で、12万円の減。

6項育児諸費は、1目育児給付費、2目児童手当金、ともに科目存置であります。

なお、2款保険給付費の総額2億3,113万1,667円に対しまして、歳入では、道支出金が保険給付費等交付金として入っております。

3款国民健康保険事業費納付金は、平成30年度から北海道が財政運営の責任主担となりまして、全道の市町村の標準化に向けて行っている陸別町の負担分を積算し、求められた納付額となります。

1項医療給付費分で1目一般被保険者医療給付費分6,469万1,000円。

2目退職被保険者医療給付費分は科目存置。

2項後期高齢者支援金等分は、1目一般被保険者後期高齢者支援金等分2,146万円。

2目退職被保険者後期高齢者支援金等分は科目存置。

次のページをお開きください。

3項介護納付金分1目介護納付金分864万3,000円であります。

4款共同事業拠出金は、退職者医療事業分担金としての納付額70円であります。

次に、5款保健事業費1項特定健康診査等事業費1目特定健康診査等事業費322万4,739円あります。11節需用費37万7,752円には、特定健診用システム、マルチマーカ―35万6,400円が入っております。12節役務費は17万554円で、例年同様の執行。13節委託料では、特定健診292件、259万5,011円が主な内容であります。19節負担金補助及び交付金は、日本糖尿病協会の新規の年会費3,500円となっております。

次の、2項保健事業費1目保健事業費132万2,531円も例年同様の執行であります。

次のページをお開きください。

13節の委託料は、インフルエンザの予防接種132人、46万2,000円、高齢者肺炎球菌の予防接種9人、3万6,000円、ふれあい広場のステージ設置費用15万4,000円が主な内容であります。20節扶助費は、インフルエンザの予防接種1人、2,400円の償還払い分であります。

次に、6款諸支出金1項償還金及び還付加算金1目償還金106万7,300円は、23節償還金利子及び割引料、国保税の還付金で、14件分であります。

2目の延滞金は科目存置。

3目繰出金は、特別調整交付金のへき地直営診療施設運営費分で6,040万2,000円の直診会計への繰出金であります。なお、平成30年度分の追加交付は998万2,000円ございましたが、交付確定及び入金が年度末となっておりますので、そのまま繰越金としまして、令和2年度の国保会計の補正予算が生じたときに整理をすることとしております。

7款予備費は2件、20万5,500円の充当であります。

歳出の合計であります。当初予算額3億9,140万5,000円、補正予算額5,307万3,000円で、予算現額は4億4,447万8,000円、支出済額は4億1,738万3,512円、不用額が2,709万4,488円で、歳出の決算を終えております。

なお、議案説明書、資料ナンバー46-1から4に、国民健康保険事業勘定特別会計の歳入歳出の決算に係る資料がつけてありますので、後ほど御覧ください。

それでは、次の170ページをお開きください。

170ページは、国民健康保険事業勘定特別会計の実質収支に関する調書、単位は千円であります。

歳入総額が4億2,754万6,000円、歳出総額は4億1,738万4,000円、

歳入歳出差引額と実質収支額は同額で1,016万2,000円であります。同額が次年度への繰越金となります。

以上で、議案第62号の説明を終わりました。次に、議案第63号の説明に移ります。

議案第63号は、令和元年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算についてであります。

まずは、決算書の説明資料により説明いたしますので、195ページをお開きください。

195ページの説明資料は、第1表、令和元年度歳入歳出決算の総括であります。予算額3億2,190万1,000円、歳入の決算額が3億3,144万449円。歳出の決算額が3億1,496万668円、差し引き残額で1,647万9,781円でありまして、これは令和2年度への繰越金となります。なお、歳出の執行率は97.8%であります。

次のページに移りまして、第2表、歳入実績最近年度比較表であります。

1款診療収入から合計までの科目ごとの平成30年度と令和元年度の金額及び比率などについては表のとおりであります。令和元年度の歳入の合計は、調定額3億3,145万4,069円、収入済額3億3,144万449円で、前年度と比較しますと1,840万3,099円の減となっております。

このうち、1款診療収入につきましては、収入済額が1億815万3,155円、歳入に占める割合は32.6%で、前年度比3.3ポイントの増であります。収入未済額は1万20円となっております。

次のページをお開きください。

第3表、歳出実績最近年度比較表であります。

1款総務費から合計までの科目ごとの平成30年度と令和元年度の金額及び比率などについては表のとおりであります。

令和元年度の歳出の合計は、支出済額3億1,496万668円、これは昨年と比較しますと1,538万3,547円の減、不用額が694万332円、執行率は97.8%でありまして、前年度より1.9ポイントの増となっております。

次のページ。

第4表、診療収入収納状況調べであります。

左側が入院分、右側が外来分で、入院分の収入済額は1,678万7,625円で、前年度と比較しますと734万7,865円の増、収入未済額はございません。外来分の収入済額は7,231万6,293円で、前年度と比較しますと143万2,627円の減であります。

次のページをお開きください。

第5表、経費別支出内訳調べであります。

1、総務費につきましては2億8,822万2,804円、前年度と比較しますと136万6,930円の減、診療収入に対する割合は266.5%で、16.3ポイントの減。

2、医業費は2,568万1,160円、前年度と比較しますと1,401万6,617円の減、診療収入に対する割合は23.7%で、15.1ポイントの減であります。

次のページに移りまして、第6表、患者数及び職員数等調べであります。年間の入院患者数につきましては872人で、前年度と比較しますと430人の増、外来患者数は1万2,337人で、223人の減となっております。

次のページをお開きください。

200ページの続きになりますが、2の職員数、3、患者1人1日当たり診療収入調べ、4、患者1人1日当たり薬品費調べ、5、診療収入に対する投薬等の収入割合は記載のとおりでありますので、後ほど御覧をいただきたいと思います。

以上で、説明資料のほうの説明を終わりました。事項別明細書の説明を行います。

179ページをお開きください。

179ページの歳入からになります。

1款診療収入の収入済額は1億815万3,155円で、前年度と比較しますと576万9,694円の増。収入未済額は1万200円であります。

1項入院収入、2項外来収入は、先ほど第4表、診療収入収納状況調べで説明しておりますので、内容の説明は省略させていただきますが、2項の外来収入の次のページ、181ページを御覧ください。

181ページの中段にあります。5目一部負担金収入の1節医療給付現年度の収入未済額であります。これは3件で1万200円であります。

次に、2款使用料及び手数料1項使用料1目診療所使用料1節行政財産使用料は、自動販売機1台の設置に係る使用料3万5,041円であります。

次のページをお開きください。

2項手数料1目文書料は、診断書や介護意見書などで82万8,660円であります。収入未済額につきましては、文書料の1件分、3,000円で、8月末日までに納入されております。

次に、3款財産収入1項財産運用収入1目財産貸付収入1節土地建物貸付収入は、職員住宅3戸分で47万2,800円。

4款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金は1億3,547万6,000円で、その内訳は、起債償還分が105万8,000円、財政対策分が1億3,441万8,000円であります。

2目国保事業勘定特別会計繰入金は6,040万2,000円で、令和元年度のへき地診療所運営分であります。北海道からの指示によりまして、積算根拠が変更となります。昨年度と比較しまして2,442万7,000円の増となっております。

5款繰越金は前年度繰越金で、1,949万9,333円。

6 款諸収入は、次のページをお開きください。

1 項雑入 1 目雑入 6 5 7 万 3, 4 6 0 円であります。1 節私用電話料は 5, 7 9 0 円。2 節雑入は、嘱託医報酬が 3 6 0 万円、社会保険料等個人負担金が 2 2 8 万 4, 6 5 6 円、患者外給食 5 2 万 2, 2 0 0 円などが主な内容であります。収入未済額は、医療用具代 6 0 0 円ですが、そのうち 3 0 0 円が 8 月末日までに納入されております。

歳入の合計であります。当初予算額 3 億 3, 1 1 8 万 9, 0 0 0 円、補正予算額 9 2 8 万 8, 0 0 0 円の減額でありまして、予算現額は 3 億 2, 1 9 0 万 1, 0 0 0 円、調定額 3 億 3, 1 4 5 万 4, 0 6 9 円に対し、収入済額 3 億 3, 1 4 4 万 4 4 9 円で、収入未済額が 1 万 3, 6 2 0 円、これによりまして歳入の決算を終えております。

続きまして、歳出の説明に入ります。

1 8 7 ページをお開きください。

1 8 7 ページの歳出であります。

1 款総務費 1 項施設管理費 1 目一般管理費 2 億 8, 7 5 1 万 7, 7 1 9 円は、電子カルテ維持一体型システム導入で 7 3 9 万 8, 0 0 0 円、その他につきましては、人件費、施設の管理運営経費、事務経費等の執行となっております。不用額につきましては、実績に伴う予算額の執行残となりますが、3 節の職員手当等は勤勉手当で 5 8 万 9, 3 7 4 円、夜勤手当で 2 2 万 7, 3 9 9 円、4 節の共済費は共済組合費追加費用、合わせまして 1 8 万 7, 7 2 1 円。7 節の賃金は、臨時医師賃金で 3 0 万円、臨時看護師賃金で 5 6 万 8 1 9 円。9 節の旅費では、普通旅費 2 7 万 8, 5 9 4 円。1 1 節需用費は、施設管理用の消耗品で 2 0 万 3, 1 9 2 円、燃料代 6 0 万 9, 1 1 1 円。1 4 節使用料及び賃借料では、臨時医師送迎のための車両借上料は 1 8 万 7, 6 3 0 円、これが不用額の主な内容となっております。

2 項の研究研修費。

次のページをお開きください。

1 目研究研修費 7 0 万 5, 0 8 5 円は、例年同様の執行であります。なお、9 節旅費 7 6 万 7, 7 6 0 円の不用額につきましては、新型コロナウイルス感染症のため、医師が学会等への参加を見送ったことなどによるものであります。

次に、2 款医業費であります。1 項医業費 1 目医療用機械器具費 2 1 万 6 0 0 円は、昨年度に比べまして 1, 6 6 9 万 5, 0 7 2 円の減額となっております。これは昨年度、X 線画像記録管理システムを購入したことによるものであります。この件を除きまして、1 目医療用機械器具費から 5 目寝具費まで、例年同様の執行であります。2 目の医療用消耗機材費の支出済額は 9 3 2 万 5, 0 3 6 円で、前年度と比較しますと 1 1 9 万 4 8 6 円の増。不用額につきましては、1 2 節役務費がクリーニング代で 1 2 万 8, 9 5 2 円。1 3 節委託料で在宅酸素管理委託料 1 0 万 1 2 円が主な内容であります。

3 目医薬品費の支出済額は 1, 1 4 0 万 8, 3 1 4 円で、前年度と比較しますと 1 1 3 万 8, 7 1 8 円の増。不用額は、1 1 節需用費で、医薬品 4 4 万 9, 9 8 8 円、ワクチン

11万9,639円、血液製剤9万5,059円が主な内容であります。

4目の検査費の支出済額は247万3,798円で、前年度と比較しますと7万3,515円の減であります。不用額につきましては、13節委託料で、血液検査等、46万1,202円が主な内容であります。

5目の寝具費の支出済額は19万373円で、前年度と比較しますと10万380円の増であります。

次のページをお開きください。

2項給食費1目給食費207万3,039円は、前年度と比較しますと32万2,384円の増で、11節需用費の不用額は、給食の賄い材料費35万6,283円が主な内容であります。

3款公債費1項公債費1目元金101万4,324円と、2目利子4万2,380円を合わせた支出額105万6,704円につきましては、前年度と同額であります。

議案説明書、資料ナンバー27に起債残高等推移の一覧表がつけてありますので、後ほど御覧ください。

4款予備費は充当はございません。

歳出の合計になりますが、当初予算額3億3,118万9,000円、補正予算額928万8,000円の減額で、予算現額は3億2,190万1,000円、支出済額は3億1,496万668円、不用額694万332円、予算流用は3件で38万6,305円で、歳出の決算を終えております。

なお、議案説明書、資料ナンバー47の1と2に、陸別町国民健康保険関寛斎診療所運営状況がつけてありますので、後ほど御覧ください。

それでは、次のページ、193ページをお開きください。

193ページは、国民健康保険直営診療施設勘定特別会計の実質収支に関する調書、単位は千円であります。歳入総額が3億3,144万円、歳出総額は3億1,496万1,000円、歳入歳出差引額、実質収支額は同額の1,647万9,000円であります。同額が次年度への繰越金となります。

以上で、議案第63号の説明を終わりました。次に、議案第64号の説明に移ります。

議案第64号は、令和元年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算についてであります。

まずは、決算書の説明資料により説明をいたしたいと思っておりますので、217ページをお開きください。

217ページの説明資料につきましては、第1表、令和元年度歳入歳出決算の総括であります。予算額1億7,067万8,000円、歳入の決算額1億7,077万4,646円、歳出の決算額1億6,604万1,864円、差し引き残額473万2,782円でありまして、これは令和2年度への繰越金となります。なお、歳出の執行率は97.3%

であります。

次のページの第2表、歳入実績最近年度比較表であります。

1款使用料及び手数料から合計までの科目ごとの平成30年度と令和元年度の金額及び比率などについては表のとおりであります。令和元年度の歳入の合計は、調定額1億7,078万3,916円、収入済額1億7,077万4,646円で、前年度と比較しますと5,789万3,637円の減となっております。

このうち、1款使用料及び手数料につきましては、収入済額が5,248万6,357円で、歳入に占める割合は30.7%、前年比7.9ポイントの増。収入未済額は9,270円であります。

次のページをお開きください。

第3表、歳出実績最近年度比較表であります。

1款総務費から合計までの科目ごとの平成30年度と令和元年度の金額及び比率などについては表のとおりであります。

令和元年度の歳出の合計は、支出済額1億6,604万1,864円、前年度と比較しますと5,845万4,932円の減、不用額が463万6,136円、執行率は97.3%でありまして、前年度より0.8ポイントの減となっております。

次のページ。

第4表、水道使用料徴収実績額であります。

陸別地区の調定額につきましては5,241万9,627円、収入済額は5,241万357円で、前年度と比較しますと45万6,763円の増、このうち一般用の調定額は3,797万1,701円で、収入済額は3,796万2,431円、前年度と比較しますと55万3,945円の増となっております。

以下、営業用から臨時用まで、記載のとおりでありますので、後ほど御覧をいただきたいと思えます。

次に、下の表の令和2年度3月末現在の用途別給水戸数であります。前年度と比較しますと、一般用が989戸で7戸の減、営業用が28戸、事業用が40戸、団体用6戸、浴場営業用1戸はいずれも増減なく、合計につきましては1,064戸で、7戸の減となっております。

次のページをお開きください。

第5表、給水状況調べであります。こちらも前年と比較しますと、年間の給水量の合計は30万255立方メートルで、2,180立方メートルの減、1日平均の給水量は820立方メートルで、9立方メートルの減、給水人口は2,089人で、47人の減、1人1日の平均給水量は392リットルで、4リットルの増となっております。

以上で、説明資料のほうの説明を終わります。事項別明細書の説明を行います。

205ページをお開きください。

205ページ、歳入からであります。

1 款使用料及び手数料 1 項使用料 1 目水道使用料 5,241 万 357 円は、前年度と比較すると 45 万 6,763 円の増、収入未済額は 2 件、9,270 円であります。この収入未済額につきましては、8 月末日までに全額が納入されております。

2 項手数料 1 目水道手数料 7 万 6,000 円は、1 節設計手数料の給水装置の工事審査手数料でありまして、新設が 8,000 円の 5 件、改造が 4,000 円の 2 件、撤去が 4,000 円の 7 件の合計 14 件、7 万 6,000 円。2 節指定手数料は科目存置となります。

2 款国庫支出金 1 項国庫補助金 1 目簡易水道事業補助金 167 万 5,000 円は、浄水場等の機器更新に係る補助金であります。

3 款財産収入 1 項財産売払収入 1 目物品売払収入は、科目存置。

4 款繰入金 1 項他会計繰入金。

次のページをお開きください。

1 目の一般会計繰入金 1 億 727 万 9,000 円は、建設改良費分が 5,817 万 4,000 円、財政対策分が 4,910 万 5,000 円の内訳であります。

5 款繰越金は、前年度繰越金で 417 万 1,487 円。

6 款諸収入 1 項雑入 1 目雑入 196 万 2,802 円は、下水道会計からの下水道料金の事務負担金 67 万 802 円、陸別配水池用非常用電源発電機の設置に係る北海道市町村振興協会の助成金 129 万 2,000 円であります。

7 款町債 1 項町債 1 目簡易水道事業債 320 万円は、過疎債が 160 万円、簡易水道事業債が 160 万円であります。

歳入の合計になりますが、当初予算額 1 億 6,692 万 2,000 円、補正予算額 375 万 6,000 円で、予算現額は 1 億 7,067 万 8,000 円、調定額 1 億 7,078 万 3,916 円に対しまして、収入済額が 1 億 7,077 万 4,646 円、収入未済額が 9,270 円で、歳入の決算を終えております。

続きまして、歳出の説明に入ります。

209 ページをお開きください。

209 ページ、歳出であります。

1 款総務費 1 項総務管理費 1 目一般管理費 1,845 万 3,216 円は、水道台帳の整備事業で 588 万 5,000 円、その他人件費、水道料金収納業務などの経費で、例年同様の執行であります。なお、27 節公課費につきましては、消費税の納付分となっております。

2 款施設費 1 項施設管理費 1 目施設維持費 2,976 万 6,676 円は、水道施設の維持に係る経費でありまして、掲載の主要事業のとおりとなります。昨年度は 563 万 7,600 円の陸別浄水場のボイラー更新工事などがあったため、今年度の執行額が減少しておりますが、それ以外につきましては、例年同様の執行であります。この科目の扶養額は、11 節需用費では、施設維持に係る消耗品が 17 万 1,632 円、燃料費で 30 万

1,366円。

次のページをお開きいただきまして、13節の委託料で、管路等の修繕76万6,300円、水道メーターの取り替え57万1,240円、施設設備保守管理で11万4,183円が主な内容であります。

2目の施設新設改良費513万8,177円は、掲載の主要事業が主な内容であります。昨年度は、陸別地区の簡易水道施設機器更新工事関連事業で4,179万6,000円、トマム地区、市街地区の配水管布設替工事で1,905万1,200円などがあり、今年度の執行額が大幅に減少しております。

3款公債費1項公債費は、1目元金9,377万5,001円と、2目の利子1,890万8,794円を合わせた支出済額は1億1,268万3,795円で、前年度と比べて641万9,169円の増となっております。

議案説明書、資料ナンバー27に、起債残高等推移の一覧表がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

4款予備費につきましては、充当はございません。

次のページをお開きください。

歳出の合計になりますが、当初予算額1億6,692万2,000円、補正予算額375万6,000円で、予算現額は1億7,067万8,000円、支出済額は1億6,604万1,864円、不用額が463万6,136円、予算流用は2件で、12万2,815円で歳出の決算を終えております。

それでは、次のページ、215ページをお開きください。

215ページは、簡易水道事業特別会計の実質収支に関する調書、単位は千円であります。

歳入総額が1億7,077万5,000円、歳出総額は1億6,604万2,000円、歳入歳出差し引き額と実質収支額は同額の473万3,000円であります。同額が次年度への繰越金となります。

以上で、議案第64号の説明を終わりました、続きまして、議案第65号の説明に移ります。

○議長（本田 学君） 2時15分まで休憩します。

休憩 午後 1時56分

再開 午後 2時15分

○議長（本田 学君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

早坂副町長。

○副町長（早坂政志君） それでは、続きまして、議案第65号令和元年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算について説明をさせていただきます。

まずは、決算書の説明資料により説明いたしますので、237ページをお開きください。

237ページの説明資料は、第1表、令和元年度歳入歳出決算の総括であります。

予算額1億4,904万1,000円、歳入の決算額1億4,921万5,512円、歳出の決算額1億4,657万7,140円、差し引き残額263万8,372円でありまして、これは令和2年度への繰越金となります。なお、歳出の執行率は98.3%であります。

次のページ。

第2表、歳入実績最近年度比較表であります。

1款分担金及び負担金から合計までの科目ごとの平成30年度と令和元年度の金額及び比率の比較については表のとおりであります。令和元年度の歳入の合計は、調定額1億4,922万1,587円、収入済額1億4,921万5,512円で、前年度と比較しますと1,184万9,982円の増となっております。このうち、2款使用料及び手数料につきましては、収入済額が2,503万1,972円、歳入に占める割合は16.8%で、前年度に比較して1.1ポイントの減。収入未済額は2件、6,075円であります。

次のページをお開きください。

第3表、歳出実績最近年度比較表であります。

1款総務費から合計までの科目ごとの平成30年度と令和元年度の金額及び比率などは表のとおりであります。

令和元年度の歳出の合計は、支出済額1億4,657万7,140円、前年度と比較しますと1,160万4,538円の増、不用額が246万3,860円、執行率は98.3%でありまして、前年度より0.1ポイントの減となっております。

次のページ。

第4表、下水道使用料徴収実績調べであります。

陸別処理区の調定額は2,497万4,047円、収入済額は2,496万7,972円で、前年度と比較しますと52万936円の増、収入未済額は6,075円の皆増、このうち一般用の調定額は2,462万4,053円、収入済額は2,461万7,978円で、前年度と比較しますと50万7,404円の増。公衆浴場用の調定額34万9,994円、収入済額は34万9,994円で、前年度と比較しますと1万3,532円の増となっております。

次に、下の表の令和2年3月末現在の処理状況であります。前年度と比較しますと、処理人口は1,779人で17人の減、水洗化人口は1,634人で10人の減、水洗化率は91.8%で、0.3ポイントの増となっております。

以上で、説明資料のほうの説明を終わりました。事項別明細書の説明を行います。

225ページをお開きください。

225ページ、歳入からの説明です。

1款分担金及び負担金1項分担金1目下水道事業分担金42万5,000円は、平成3

0年度建設分が7戸分、17万5,000円、令和元年度建設分が10戸分、25万円です。

2款使用料及び手数料1項使用料1目下水道使用料は、収入済額2,496万7,972円、収入未済額が2件、6,075円です。この収入未済額につきましては、8月末日までに全額が納入されています。

2項手数料1目下水道手数料6万4,000円は、排水設備工事の審査手数料で、新設が6件分、4万8,000円、撤去が4件分、1万6,000円です。

3款国庫支出金1項国庫補助金1目下水道事業補助金1,799万2,150円は、陸別浄化センターほか、電気機械設備更新に係る補助金です。

4款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金9,176万8,000円は、建設改良費分168万6,000円、高資本費対策分512万6,000円、分流式下水道分4,826万1,000円、財政対策分が6,669万5,000円の内訳です。

次のページをお開きください。

5款繰越金、前年度繰越金で239万2,928円。

6款町債1項町債1目下水道事業債1,160万円は、過疎債が580万円、下水道債が580万円です。

7款財産収入1項財産売払収1目物品売払収入5,462円につきましては、電気機械設備更新において不要となりました機器の金属分の売り払い分です。

歳入の合計ですが、当初予算額1億7,782万4,000円、補正予算額、マイナスの2,878万3,000円で、予算現額は1億4,904万1,000円、調定額1億4,922万1,587円に対しまして、収入済額1億4,921万5,512円、収入未済額が6,075円で歳入の決算を終えています。

続きまして、歳出の説明に入らせていただきます。

229ページ、歳出であります。

1款総務費1項総務管理費1目一般管理費1,191万5,835円は、昨年度の執行の経営戦略策定支援委託業務172万8,000円を除きまして、職員の人件費、下水道台帳作成など、例年同様の執行です。27節公課費につきましては、平成30年度分の消費税納付分54万3,600円となっております。

2款施設費1項施設管理費1目施設維持費4,934万1,611円は、下水道施設の維持に係る経費でありまして、掲載の主要事業が主な内容となっております。この科目の不用額につきましては、11節需用費で、陸別浄化センターの光熱水費15万9,901円、修繕料の20万円、これが主な内容です。

次のページをお開きください。

13節委託料では、施設設備改修40万3,680円が主な内容です。

3款事業費1項下水道整備費1目下水道建設費3,498万6,639円につきましては、掲載の主要事業の内容のとおりです。

4款公債費1項公債費は、1目元金4,268万1,907円と2目利子の765万1,148円を合わせた5,033万3,055円で、前年度と比べまして318万3,482円の増となっております。

議案説明書、資料ナンバー27に、起債残高等推移の一覧表がつけてありますので、後ほど御覧ください。

5款予備費につきましては、充当はございません。

次のページをお開きください。

歳出の合計になります。当初予算額1億7,782万4,000円、補正予算額マイナスの2,878万3,000円で、予算現額は1億4,904万1,000円、支出済額は1億4,657万7,140円、不用額が246万3,860円で、歳出の決算を終えております。

それでは、次のページ、235ページをお開きください。

公共下水道事業特別会計の実質収支に関する調書、単位は千円であります。

歳入総額が1億4,921万6,000円、歳出総額は1億4,657万7,000円、歳入歳出差し引き額と実質収支額は同額の263万9,000円であります。同額が次年度への繰越金となります。

以上で、議案第65号の説明を終わります。次に、議案第66号の説明に移ります。

す。

議案第66号令和元年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算についてであります。

まずは決算書の説明資料により説明をいたしますので、268ページを御覧ください。

268ページの説明資料は、第1表、令和元年度歳入歳出決算の総括であります。

予算額3億285万6,000円、歳入の決算額3億1,052万1,203円、歳出の決算額2億8,562万9,375円、差し引き残額2,489万1,828円でありまして、これは令和2年度への繰越金となります。なお、歳出の執行率は94.3%であります。

次に、第2表、歳入実績最近年度比較表を御覧ください。

1款介護保険料から合計までの科目ごとの平成30年度と令和元年度の金額及び比率などは表のとおりであります。令和元年度の歳入の合計は、調定額3億1,100万7,953円、収入済額は3億1,052万1,203円で、前年度と比較しますと253万3,673円の減となっております。

なお、1款の介護保険料につきましては、収入済額が5,500万9,352円、歳入に占める割合は17.7%で、前年度と比較して0.5ポイントの減、不納欠損額は12万9,360円、収入未済額は35万7,390円あります。

次のページに移りまして、第3表、歳出実績最近年度比較表であります。

1款総務費から合計までの科目ごとの平成30年度と令和元年度の金額及び比率などは表のとおりであります。

令和元年度の歳出の合計であります。支出済額2億8,562万9,375円、前年度と比較しますと1,251万9,861円の減、不用額が1,722万6,625円、執行率は94.3%でありまして、前年度比2.6ポイントの減となっております。

次に、第4表、介護保険料収納額調べを御覧ください。

左側が現年度賦課額、右側が滞納繰越分でありまして、現年度賦課額は、調定額が5,497万1,102円、収入済額5,479万4,972円は、前年度と比較しますと227万1,823円の減、収納率は99.7%で、前年度比0.1ポイントの増。収入未済額は17万6,130円であります。

右側の滞納繰越分は、調定額が52万5,000円、収入済額が21万4,380円は、前年度と比較しますと16万5,380円の増、収納率は9.9%で、前年度比30.9ポイントの増。不納欠損額は12万9,360円、収入未済額は18万1,260円でありまして、現年度と滞納繰越分の収入未済額の合計は35万7,390円となっております。

以上で、説明資料のほうの説明を終わりにして、事項別明細書の説明を行います。

246ページをお開きください。

246ページ、歳入であります。

1款介護保険料1項介護保険料1目第1号被保険者保険料は5,500万9,352円であります。令和元年度末現在の被保険者数は874人で、前年度より12人の減となっております。1節現年度分の収入済額は5,479万4,972円、収入未済額は3件、17万6,130円あります。2節滞納繰越分の収入済額は21万4,380円、不納欠損額は2件で12万9,360円、収入未済額は3件、18万1,260円あります。なお、この収入未済額のうち、滞納繰越分1件、3万780円につきましては、8月末までに納入されております。

2款国庫支出金1項国庫負担金1目介護給付費負担金5,274万3,000円は、歳出の介護給付費に係る施設分15%、その他20%分であります。

2項国庫補助金1目調整交付金2,332万6,000円は、歳出の介護給付費に係る8.49%分。

2目地域支援事業交付金283万7,105円は、介護予防・日常生活支援総合事業分が156万1,600円で、介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業分が127万5,505円あります。

3目保険者機能強化推進交付金は、地域包括支援センターが行う高齢者自立支援への取り組みに対する補助金で23万3,000円。

4目事業費補助金72万5,000円はシステム改修に係る補助金。

次のページをお開きください。

3 款道支出金 1 項道負担金 1 目介護給付費負担金 4, 1 0 9 万 3, 5 2 7 円は、歳出の介護給付費に係る施設分 1 7. 5 %、その他 1 2. 5 %分であります。

2 項道補助金 1 目地域支援事業交付金 1 3 3 万 2 円は、介護予防・日常生活支援総合事業分が 6 9 万 2, 2 5 0 円で、介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業分が 6 3 万 7, 7 5 2 円であります。

4 款支払基金交付金 1 項支払基金交付金 1 目介護給付費交付金は、1 節現年度分 7, 3 1 4 万 6, 0 0 0 円で、歳出の介護給付費に係る 2 7 %分であります。

2 目地域支援事業支援交付金は、1 節現年度分介護予防事業分で 1 4 9 万 5, 0 0 0 円であります。

5 款財産収入 1 項財産運用収入 1 目利子及び配当金は、基金利息 5 8 3 円であります。

次は、6 款繰入金で、次のページを御覧ください。

1 項他会計繰入金 1 目一般会計繰入金 4, 2 7 9 万 6, 0 0 0 円であります。1 節介護給付費繰入金は 3, 4 2 4 万 9, 0 0 0 円で、前年度より 1 2 2 万 9, 0 0 0 円の減。2 節事務費繰入金は 4 6 8 万 7, 0 0 0 円で、前年度より 5 2 万 3, 0 0 0 円の減。3 節地域支援事業繰入金は 1 1 4 万 8, 0 0 0 円で、前年度より 3 万 2, 0 0 0 円の減。4 節低所得者保険料軽減繰入金は 2 7 1 万 2, 0 0 0 円で、前年度より 2 0 8 万 2, 0 0 0 円の増であります。これには一般会計に国から 2 分の 1、道から 4 分の 1 が入ってきております。

2 項基金繰入金 1 目介護給付費準備基金繰入金は 5 6 万 7, 0 0 0 円。

7 款繰越金は、前年度繰越金で 1, 4 9 0 万 5, 6 4 0 円。

8 款諸収入 1 項延滞金及び過料 1 目第 1 号被保険者延滞金から 2 目第 1 号被保険者過料。

次のページを御覧ください。

2 項預金利子、3 項雑入の 1 目滞納処分費から 3 目返納金まで、科目存置であります。

4 目の雑入 3 1 万 3, 9 9 4 円は、介護扶助審査判定業務 2 7 万 4, 1 2 0 円と、総合事業訪問 A 事業に係る利用者負担金 3 万 9, 8 7 4 円であります。

歳入の合計は、当初予算額 2 億 9, 5 7 4 万 9, 0 0 0 円、補正予算額 7 1 0 万 7, 0 0 0 円で、予算現額は 3 億 2 8 5 万 6, 0 0 0 円、調定額 3 億 1, 1 0 0 万 7, 9 5 3 円に対し、収入済額が 3 億 1, 0 5 2 万 1, 2 0 3 円、不納欠損額 1 2 万 9, 3 6 0 円、収入未済額が 3 5 万 7, 3 9 0 円で歳入の決算を終えております。

続きまして、歳出の説明に移らせていただきます。

2 5 4 ページをお開きください。

歳出であります。

1 款総務費 1 項総務管理費 1 目一般管理 1 0 8 万 4, 1 8 6 円は、1 9 節負担金補助及び交付金で、介護保険システムの改修に係る北海道自治体情報システム協議会への負担金 1 0 3 万 3, 2 2 6 円が主な内容であります。

2 項賦課徴収費 1 目賦課徴収費 2 3 万 9, 5 4 8 円。

3 項介護認定審査会費 1 目介護認定審査会費 2 0 8 万 9, 5 4 0 円。

2 目の認定調査費 5 8 万 6, 5 6 0 円は、いずれも例年同様の執行であります。

なお、1 目介護認定審査会費の 1 2 節役務費は、主治医意見書 1 4 5 件分、1 9 節負担金補助及び交付金 1 4 7 万円は、十勝東北部介護認定審査会への負担金。

2 目認定調査費 1 3 節委託料は、介護認定調査業務で、直営分が 1 3 9 人、施設への委託分が 7 人の合わせた 1 4 6 人分であります。

次に、2 款保険給付費 1 項介護サービス等諸費であります。

次のページをお開きください。

前年度と比較をしてみたいと思います。

1 目居宅介護サービス給付費 9, 7 3 1 万 9, 1 4 0 円は、前年度より 3, 2 4 9 万 8, 5 7 9 円の減であります。延べ利用者は 1, 3 9 0 人で、前年度より 2 1 2 人の減であります。

2 目居宅介護サービス計画給付費 7 5 8 万 7, 1 2 0 円は、前年度より 6 4 万 7, 6 2 9 円の減、延べ利用者は 5 6 0 人で、前年度より 3 8 人の減。

3 目施設介護サービス給付費 1 億 2, 3 4 7 万 9, 1 9 9 円は、前年度より 9 9 7 万 6, 1 5 5 円の増、延べ利用者は 5 2 2 人で、前年度より 2 7 人の増。

4 目居宅介護福祉用具購入費 1 8 万 9, 6 2 4 円は、前年度より 1 5 万 5, 9 4 6 円の増、利用件数は 7 件で、前年度より 5 件の増。

5 目居宅介護住宅改修費 7 7 万 3, 3 0 8 円は、前年度の実績はなく、令和元年度が 7 件で、皆増となります。

次に、2 項介護予防サービス等諸費 1 目介護予防サービス給付費 3 4 8 万 4, 2 8 6 円は、前年度より 2 2 3 万 3, 3 4 5 円の増、延べ利用者は 1 8 6 人で、前年度より 4 5 人の増。

2 目介護予防サービス計画給付費 5 7 万 4, 1 0 0 円は、前年度より 1 万 3, 0 0 0 円の増、延べ利用者数は 1 3 3 人で、前年度より 6 人の増。

3 目介護予防福祉用具購入費 6 万 9, 9 2 6 円は、前年度より 4 万 8, 4 9 5 円の増、利用件数は 3 件で、前年度より 2 件の増。

4 目介護予防住宅改修費 3 9 万 6 0 0 円は、前年度より 3 1 万 3, 3 5 0 円の増。利用件数は 3 件で、前年度より 1 件の増であります。

次のページをお開きください。

3 項その他の諸費は、1 目審査支払手数料で 1 6 万 6, 8 3 5 円、前年度より 5, 4 8 5 円の増。

4項高額介護サービス等費1目高額介護サービス費は461万5,062円で、前年度より33万5,670円の減、延べ利用者は49人で、前年度より4人の増。

2目高額介護予防サービス費6万4,721円は、前年度の実績なく、令和元年度は延べ利用者数が1名となっております。

5項高額医療合算介護サービス等費1目高額医療合算介護サービス費286万478円は、前年度より245万7,884円の増で、延べ利用者は49人で、前年度より32人の増。

2目高額医療合算介護予防サービス費は利用がございません。

6項特定入所者介護サービス等費1目特定入所者介護サービス費1,811万1,742円は、前年度より50万3,539円の増で、延べ利用者は505人で、前年度より13人の増。

2目特例特定入所者介護サービス費は利用がございませんでした。

次のページをお開きください。

3目特定入所者介護予防サービス費2万5,644円は、前年度より2万541円の増、延べ利用者は7人で、前年度より6人の増。

4目特例特定入所者介護予防サービス費は、利用はございません。

続きまして、3款地域支援事業費1項介護予防・生活支援サービス事業費1目介護予防・生活支援サービス事業費427万3,609円ではありますが、13節の委託料39万8,740円は、訪問型サービスAの委託料でありまして、前年度より15万7,960円の増、延べ利用者は153人で、前年度より62人の増。19節負担金補助及び交付金は、第1号事業給付費、介護予防・生活支援サービス事業の国保連への負担金の支払いであります。

2目介護予防ケアマネジメント事業費13節委託料11万7,940円は、町居宅介護事業所26件分であります。

2項一般介護予防事業費1目一般介護予防事業費65万6,666円は、13節委託料は、社会福祉協議会へのふまねっと運動の委託8万1,000円、足寄町国保病院への理学療法士の派遣委託26万4,000円、このほか、予防事業に係る事務経費などが主な内容であります。

次に、3項包括的支援事業・任意事業費であります。

次のページをお開きください。

1目包括的・継続的ケアマネジメント支援事業63万1,830円ではありますが、13節委託料は、介護予防サービス計画作成業務で、町居宅介護支援事業所48件、町外の居宅介護支援事業所12件、合わせて60件の委託であります。

2目任意事業費110万7,732円は、13節委託料で、社会福祉協議会に委託した介護用品給付事業35万2,486円、食の自立支援事業75万5,246円であります。

3目認知症総合支援事業費11万7,720円は、地域支援推進員の研修などに係る経費であります。

4項その他の諸費1目審査支払手数料1万1,956円は、例年同様の執行であります。

4款基金積立金1項基金積立金1目介護給付費準備基金積立金は418万2,669円であります。

議案説明書、資料ナンバー26に、基金別増減の状況がつけてありますので、後ほど御覧ください。

次のページを御覧ください。

次に、5款諸支出金1項償還金及び還付加算金1目第1号被保険者保険料還付金9万4,080円は、過年度分の還付金10件分。

2目介護給付費負担金等返還金1,072万3,554円は、平成30年度分の精算に伴う返還金でありまして、介護給付費分では、国分が347万8,893円、道分が55万5,381円、支払い基金分が133万6,506円、町分が89万8,142円。地域支援事業分では、国分が132万7,800円、道分が75万2,731円、支払基金分が95万8,931円、町分が21万8,884円。事務費分が町分で119万6,286円あります。

6款予備費は1件で、9万4,863円を充当しております。

歳出の合計であります。当初予算額2億9,574万9,000円、補正予算額710万7,000円で、予算現額は3億285万6,000円、支出済額は2億8,562万9,375円、不用額が1,722万6,625円、予算流用は3件で2万8,680円で歳出の決算を終えております。

なお、議案説明書、資料ナンバー48-1と2に、介護保険事業勘定特別会計の歳入歳出に係る実施状況の資料がありますので、後ほど御覧ください。

それでは、次に、266ページに移ります。

介護保険事業勘定特別会計の実施収支に関する調書は、単位が千円であります。

歳入総額が3億1,052万1,000円、歳出総額が2億8,562万9,000円、歳入歳出差し引き額、実施収支額は同額の2,489万2,000円あります。同額が次年度への繰越金となります。

以上で、議案第66号の説明を終わります。議案第67号に移ります。

議案第67号は、令和元年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算についての説明であります。

決算書の説明資料により説明をいたしますので、283ページをお開きください。

283ページは、第1表、令和元年度歳入歳出決算の総括であります。

予算額4,886万3,000円、歳入と歳出の決算額は4,714万2,929円の同額で、差し引き残額はございません。なお、歳出の執行率は96.5%であります。

次に、第2表、保険料収納額調べを御覧ください。

左側が現年度賦課額、右側が滞納分賦課額であります。現年度賦課額は、調定額2,973万3,000円に対し、収入済額2,959万6,600円は、前年度と比較しますと67万5,600円の増で、収入率は99.6%、前年度比0.1ポイントの減、収入未済額は13万6,400円であります。

次のページで、第3表、歳入実績最近年度比較表であります。

1款後期高齢者医療保険料から合計までの科目ごとの平成30年度と令和元年度の金額及び比率などは表のとおりであります。令和元年度の歳入の合計は、調定額4,727万9,329円、収入済額は4,714万2,929円で、前年度と比較しますと2万1,098円の増となっております。

このうち、1款後期高齢者医療保険料につきましては、収入済額が2,969万2,800円、歳入に占める割合は63%で、前年度に比較して1.6ポイントの増。収入未済額は13万6,400円でありまして、収納率は96%、前年度比3.6ポイントの減となっております。

次に、第4表、歳出実績最近年度比較表であります。

1款総務費から合計までは、先ほどと同じく表のとおりであります。令和元年度の歳出の合計は、支出済額が4,714万2,929円、前年度と比較しますと2万1,098円の増、不用額が172万71円、執行率は96.5%でありまして、前年度より2.1ポイントの減となっております。

説明資料の説明を終わりました。事項別明細書の説明を行いたいと思います。

273ページをお開きください。

273ページ、歳入であります。

1款後期高齢者医療保険料であります。今年3月31日現在の被保険者数は556人で、前年度より2人の増。特別徴収が414人、普通徴収が559人で、重複が48名となっております。

1項後期高齢者医療保険料1目特別徴収保険料は、1節現年度分の収入済額1,663万3,408円で、前年度より190万4,108円の増。

2目普通徴収保険料1,305万9,392円は、1節の現年度分の収入済額1,296万3,192円で、前年度より122万8,508円の増、収入未済額は2件、13万6,400円あります。このうち10万9,800円が8月末までに納入されております。2節滞納繰越分の収入済額は9万6,200円で、前年実績はなく、皆増となっております。

2款使用料及び手数料は科目存置。

3款繰入金1項他会計繰入金1目事務費繰入金395万3,827円は、広域連合の事務費分が179万6,000円、町単独分が215万7,827円あります。町単独の内訳は、インフルエンザ分が134万7,500円、健康診査分が646万6,135

円、その他事務費分として16万4,192円となっております。

2目保険基盤安定繰入金1,303万8,839円は、北海道が4分の3分が997万9,129円、町が4分の1分が305万9,710円の内訳であります。

4款繰越金は科目存置であります。

次のページをお開きください。

5款諸収入1項延滞金及び過料1目延滞金、2項償還金及び還付加算金1目還付加算金は科目存置。

2目保険料還付金1万3,700円は6件分で、歳出と同額となっております。

3項雑入44万3,763円は、広域連合からの健康診査委託料44万550円、長寿健康増進事業分3,213円となっております。

歳入の合計になりますが、当初予算額4,962万4,000円、補正予算額マイナスの76万1,000円、予算現額は4,886万3,000円、調定額4,727万9,329円に対して収入済額が4,714万2,929円、収入未済額が13万6,400円で歳入の決算を終えております。

続きまして、歳出の説明に移ります。

277ページ、歳出であります。

1款総務費1項総務管理費1目一般管理費243万7,398円は、例年同様の内容での執行であります。13節委託料197万4,179円は、健康診査76人、66万1,361円、インフルエンザの予防接種372人、130万2,000円、共同電算処理業務1万818円あります。20節の扶助費4万5,500円は、インフルエンザ予防接種の償還払い8名分あります。

2款後期高齢者医療広域連合納付金1項後期高齢者広域医療広域連合納付金1目後期高齢者医療広域連合納付金4,469万1,831円は、前年度より1万9,098円の減となっております。

3款諸支出金1項償還金及び還付加算金1目保険料還付金は、6人分、1万3,700円。

2目還付加算金はございません。

次のページをお開きください。

4款予備費につきましては、充当はございませんでした。

歳出の合計になります。当初予算額4,962万4,000円、補正予算額マイナスの76万1,000円、予算現額は4,886万3,000円、支出済額は4,714万2,929円、不用額が172万711円で歳出の決算を終えております。

なお、議案説明書、資料ナンバー49に、後期高齢者医療特別会計のフロー図がつけられていますので、後ほど御覧ください。

それでは、次のページ、281ページをお開きください。

後期高齢者医療特別会計の実質収支に関する調書、単位は千円であります。

歳入総額、歳出総額は、同額の4,714万3,000円、歳入歳出差し引き額、実質収支額はゼロ円であります。

以上で、議案第61号から議案第67号までの説明を終わります。

以後、御質問によってお答えをしたいと思いますので、御審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

以上であります。

○議長（本田 学君） 副町長におかれましては、大変お疲れさまでした。

令和元年度各会計の決算について、監査委員の意見書が配付されておりますが、代表監査委員が出席されておりますので、意見書の内容に不明な点があれば、この際、質疑を許します。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（本田 学君） 質疑なしと認め、監査委員に対する質疑を終わります。

令和元年度各会計の決算認定に係る質疑、討論、採決は、本定例会初日の決定のとおり、9月15日に行います。

---

#### ◎延会の議決

---

○議長（本田 学君） お諮りします。

本日の会議は、これで延会にし、特別の事情が生じない限り、14日までは休会とします。

御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（本田 学君） 異議なしと認めます。

---

#### ◎延会宣告

---

○議長（本田 学君） 本日は、これにて延会します。

延会 午後 2時54分

以上、地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定により署名する。

議長

議員

議員